

羅臼町次世代育成支援対策行動計画に係る
アンケート調査報告書

平成22年3月

羅 臼 町

目 次

1. 調査の概要	1
2. 就学前児童調査	2
3. 就学児童調査	27
4. 付属資料（調査票）	40

就学前児童調査目次

1. 子どもの生年月日・兄弟姉妹の数	2
2. お父さん・お母さんの就労状況	6
3. 母親の離職状況	11
4. 保育サービスの利用	12
5. サービスの利用希望	15
6. お子さんの病児・病後児保育について	17
7. お子さんの一時預りについて	18
8. 自由意見	24

1.調査の概要

1) 調査の目的

次世代育成支援対策行動計画の策定にあたり、その基礎資料として子育て状況や保育サービス等のニーズを把握するために実施しました。

2) 調査方法及び調査結果

- ① 調査対象 就学前児童世帯(250人)、就学児童世帯(259人)
- ② 調査期間 平成21年8月24日～9月4日
- ③ 調査方法 各幼稚園、小学校に依頼配布、一部郵送(乳幼児)、郵送回収
- ④ 調査結果 就学前児童 回収票数131/回収率52.4%
就学児童 回収票数119/回収率45.9%

3)集計上の留意点

- ① 回答率は、小数点第二位を四捨五入して小数点第一位までを表記しました。
そのため、合計が100%にならないことがあります。
- ② 複数回答の設問では、回答者数に対する百分率の合計が100%を超えることがあります。
また、合計欄の数値は各選択肢の人数の合計値ではなく、回答者数を示しています。
- ③ グラフは、原則として単回答は円グラフ、複数回答は棒グラフ、数量回答(時間、日数等)は棒グラフで作成しました。

就学前児童調査

子どもの生年月・兄弟姉妹の数

あて名の子どもの生年月から、年度別の集計を行ったところ、平成17年度生まれ(5歳児)が約25%で最も多く翌年度生まれの4歳児以降は少ない傾向があります。

また、兄弟姉妹は2人が約44%で最も多く、1人約34%、3人13%が続きます。

問1 あて名のお子さんの生まれ年

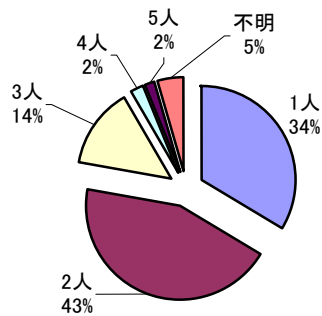
	人数	割合(%)
平成13年	1	0.8%
平成14年	3	2.3%
平成15年	19	14.5%
平成16年	27	20.6%
平成17年	32	24.4%
平成18年	12	9.2%
平成19年	19	14.5%
平成20年	11	8.4%
平成21年	7	5.3%
合計	131	100.0%

・あて名のお子さんの生まれ月

	人数	割合(%)
1月	11	8.4%
2月	4	3.1%
3月	12	9.2%
4月	18	13.7%
5月	12	9.2%
6月	13	9.9%
7月	15	11.5%
8月	16	12.2%
9月	8	6.1%
10月	5	3.8%
11月	11	8.4%
12月	6	4.6%
合計	131	100.0%

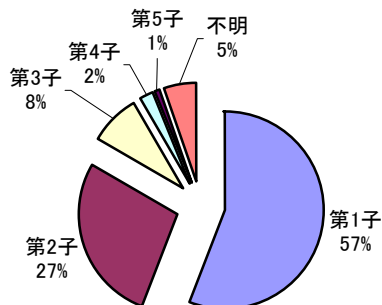
・兄弟姉妹人数(あて名のお子さんも含めて)

	人数	割合(%)
1人	44	33.6%
2人	58	44.3%
3人	18	13.7%
4人	3	2.3%
5人	2	1.5%
不明	6	4.6%
合計	131	100.0%



・あて名のお子さんは第何子

	人数	割合(%)
第1子	73	55.7%
第2子	36	27.5%
第3子	11	8.4%
第4子	3	2.3%
第5子	1	0.8%
不明	7	5.3%
合計	131	100.0%

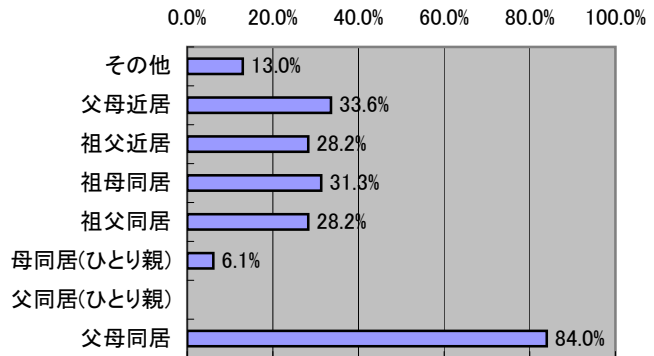


・父母双方との同居がほとんどを占めています。このほか、母子世帯が6.1%で祖父や祖母と同居するものがそれぞれ28~31%となっています。祖父母との近居をあわせると、全体の半数程度が祖父母が身近な存在であることがわかります。

問2 お子さんとの同居・近居の状況

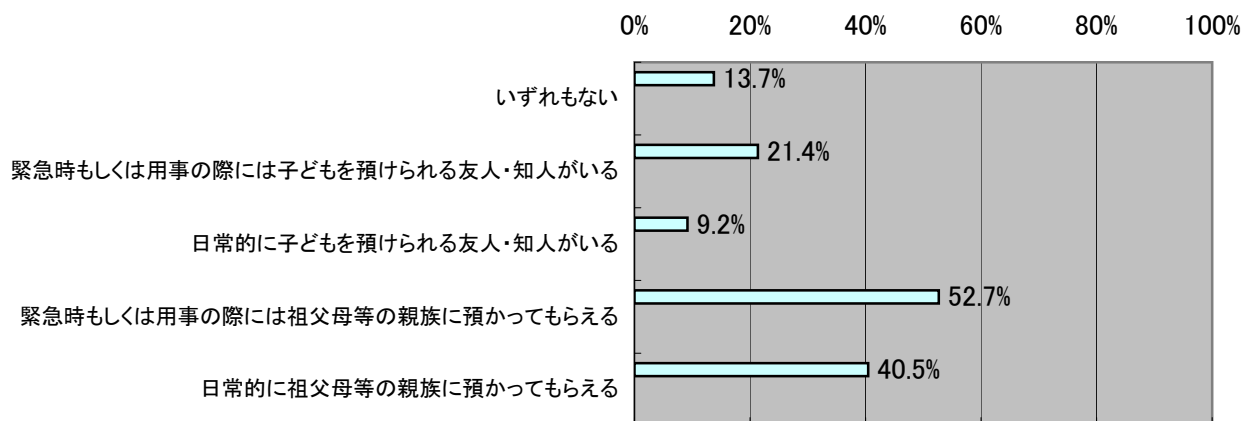
・あて名のお子さんの同居・近居状況(複数回答)

	人数	割合(%)
父母同居	110	84.0%
父同居(ひとり親)		
母同居(ひとり親)	8	6.1%
祖父同居	37	28.2%
祖母同居	41	31.3%
祖父近居	37	28.2%
父母近居	44	33.6%
その他	17	13.0%
合計	131	100.0%



問3 日頃、お子さんを預かってもらえる人(複数回答)

	人数	割合(%)
日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	53	40.5%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	69	52.7%
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	12	9.2%
緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	28	21.4%
いずれもない	18	13.7%
合計	131	100.0%



・子どもの主な養育者は、母親が94%で父親が2.3%、祖父母やその他は稀な例となっています。子育てを手伝ってくれる人について、緊急の時などに祖父母等の親族が預かってくれるという人が53%になっています。このほか、日常的に祖父母等にみてもらえる40%、緊急時に友人・知人にみてもらえるという人がそれぞれ9.2%となっています。

祖父母等に預かってもらえる場合の状況は、特に問題がない人が41%と多くを占めています。

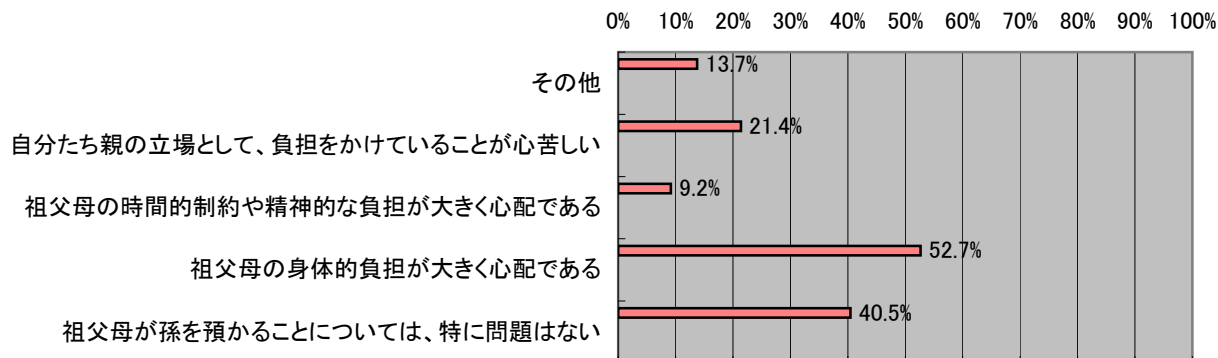
このほか、祖父母等に負担をかけることが心苦しいという声が21.4%、祖父母の身体的な負担が大きいといった声が53%になっています。

友人や知人に預かってもらうことの困難については、特に問題がない人が13.7%となっています。

しかしながら、負担をかけていることを心苦しんでいる人も21.4%となっています。

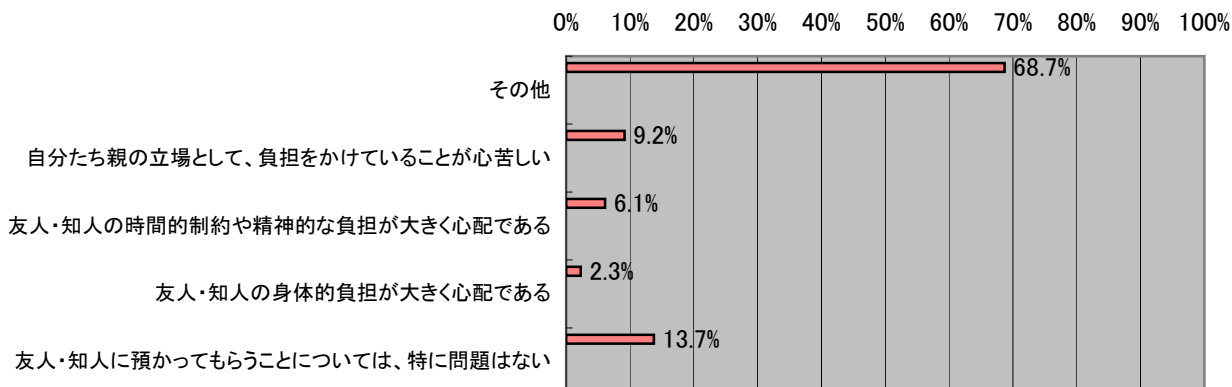
問3-1 祖父母に預かってもらっている状況(複数回答)

	人数	割合(%)
祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない	53	40.5%
祖父母の身体的負担が大きく心配である	69	52.7%
祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	12	9.2%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	28	21.4%
その他	18	13.7%
合計	131	100.0%



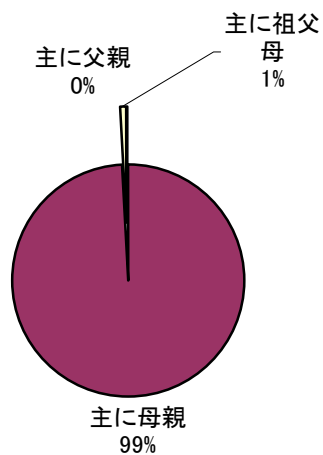
問3-2 友人や知人に預かってもらっている状況

	人数	割合(%)
友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない	18	13.7%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	3	2.3%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	8	6.1%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	12	9.2%
その他	90	68.7%
合計	131	100.0%



問4 お子さんの世話を主にしている方

	人数	割合(%)
主に父親	3	2.3%
主に母親	123	93.9%
主に祖父母	4	3.1%
その他	1	0.8%
合計	131	100.0%



お父さん・お母さんの就労状況

・就労しているが約96%になっています。

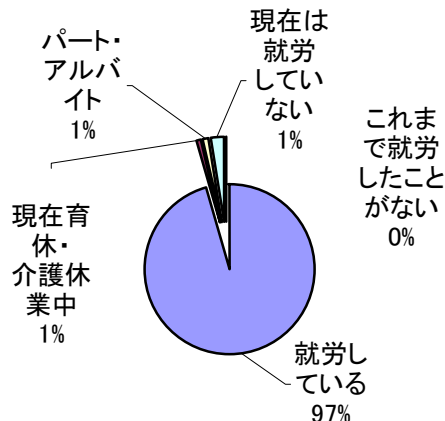
1週当りの就労時間は、40～49時間が23.5%で最も多くなっており、週5日勤務を想定すると1日当り時間の勤務時間となります。70時間超や80時間超など長時間勤務も見られます。

8～10常勤の帰宅時間は16～18時を中心に19時～21時の間の帰宅が多くなっています。

パートタイム等の人のフルタイム転換希望も一人いました。

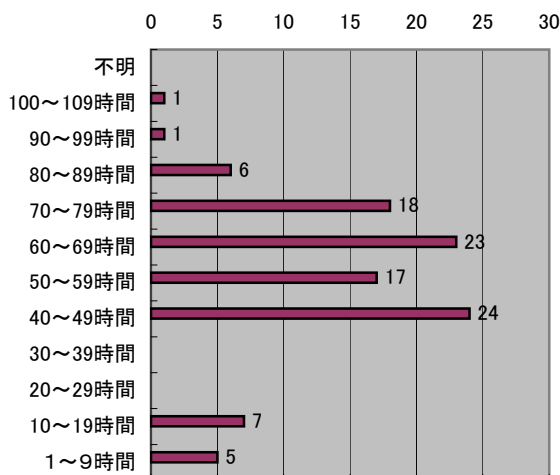
問5 父親の就労状況(単回答)

	人数	割合(%)
就労している(フルタイム)	110	95.7%
就労しているが現在、育休・介護休業中	1	0.9%
パートタイム、アルバイト等	1	0.9%
以前は就労していたが、現在は就労していない	3	2.6%
これまでに就労したことがない	0	0.0%
合計	115	100.0%



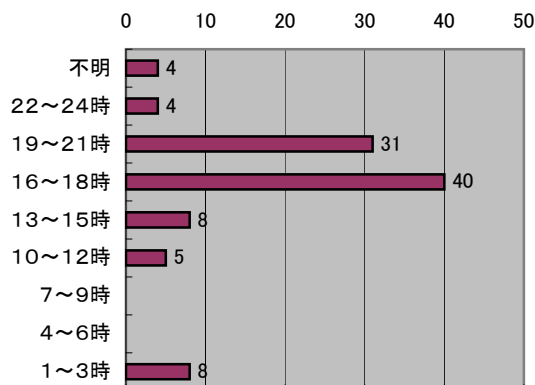
・父親 就労している/1週当り平均就労時間

就労時間	人数	割合(%)
1～9時間	5	4.9%
10～19時間	7	6.9%
20～29時間		
30～39時間		
40～49時間	24	23.5%
50～59時間	17	16.7%
60～69時間	23	22.5%
70～79時間	18	17.6%
80～89時間	6	5.9%
90～99時間	1	1.0%
100～109時間	1	1.0%
不明		
合計	102	100.0%



・父親 就労している/平均帰宅時間

帰宅時間	人数	割合(%)
1～3時	8	8.0%
4～6時		
7～9時		
10～12時	5	5.0%
13～15時	8	8.0%
16～18時	40	40.0%
19～21時	31	31.0%
22～24時	4	4.0%
不明	4	4.0%
合計	100	100.0%



・父親 パートタイム、アルバイト等/1週当り

1週当り	人数	就労時間	フルタイムへの転換希望
6日	1	11時間	希望あり

以前就労していたが、現在は就労していない人が半数を超えています。常勤は13%、パートタイム等は約33.9%、これまでに就労したことがない人は2.6%となっています。常勤の1週当りの就労時間は父親と同じく40～49時間が多く、約35%を占めています。このほか1～9時間50～59時間という人も多く、勤務形態の多様性がうかがわれます。

常勤の帰宅時間は、17時という人が多くなっています。パートタイム等の勤務については、週5日が約34%で最も多く、4日25%、6日22%などが続き、1日6時間を中心に3～7時間が多く、帰宅時間は17～18時の間が多くなっています。

パートタイム等の人のフルタイムへの転換希望については、希望はない人、希望はあるが予定がない人は22%にとどまります。

現在未就労の人については、以前はフルタイムであった人が50%を占め、今後の就労希望については、子どもが大きくなったら働きたい人が約66.2%と多く、すぐにでも働きたい人は22.5%となっています。

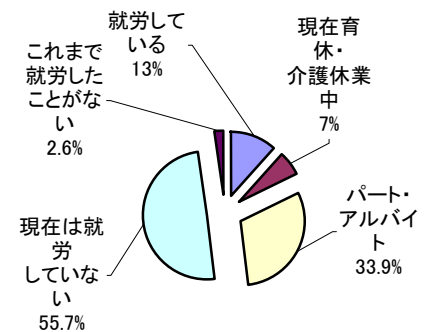
就労希望のある人の働き方については、パートタイム等が87%を占め、フルタイムは13%程度にとどまります。パートタイム等を希望する人の週当たりの就労日数は、5日を中心に4日程度が多くなっており、1日5～6時間程度の希望が多くなっています。

就労する希望がありながら、現在働いていない理由については、働きながら子育てできる適当な仕事がないからというものが約44%と多く、保育サービスが利用できれば就労したいが26%になっています。

働きに出たい子どもの年齢は、3歳が33%で幼稚園に就園する4歳、小学校に就業する7歳が多くなっています。

問5 母親の就労状況(単回答)

	人数	割合(%)
就労している(フルタイム)	15	13.0%
就労しているが現在、育休・介護休業中	8	7.0%
パートタイム、アルバイト等	39	33.9%
以前は就労していたが、現在は就労していない	64	55.7%
これまでに就労したことがない	3	2.6%
合計	129	100.0%



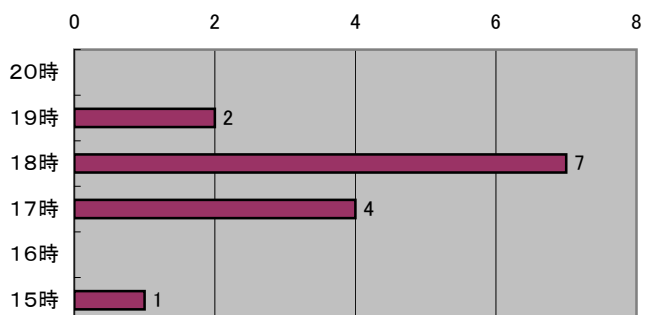
・母親 就労している/1週当たり平均就労時間

	人数	割合(%)
1～9時間	3	21.4%
10～19時間	1	7.1%
20～29時間	1	7.1%
30～39時間		
40～49時間	5	35.7%
50～59時間	4	28.6%
不明		
合計	14	100.0%



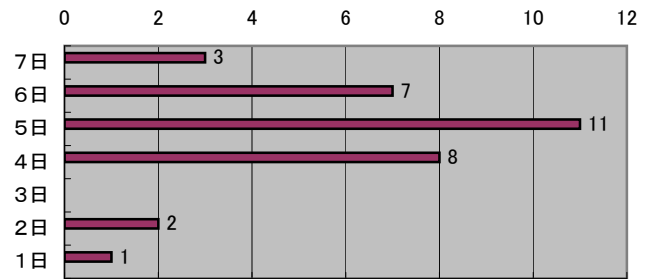
・母親 就労している/平均帰宅時間

	人数	割合(%)
15時	1	7.1%
16時		
17時	4	28.6%
18時	7	50.0%
19時	2	14.3%
20時		
合計	14	100.0%



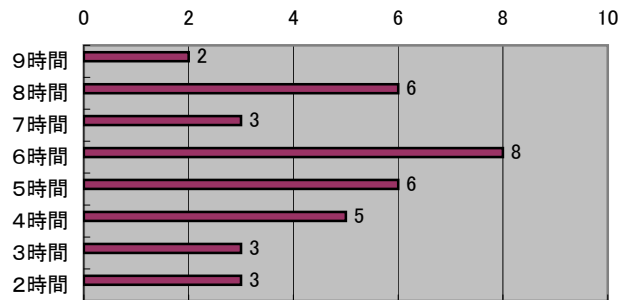
・母親 パート等/1週当たり就労時間

	人数	割合(%)
1日	1	3.1%
2日	2	6.3%
3日		
4日	8	25.0%
5日	11	34.4%
6日	7	21.9%
7日	3	9.4%
合計	32	100.0%



・母親 パート等/1日当り就労時間

	人数	割合(%)
2時間	3	8.3%
3時間	3	8.3%
4時間	5	13.9%
5時間	6	16.7%
6時間	8	22.2%
7時間	3	8.3%
8時間	6	16.7%
9時間	2	5.6%
合計	36	100.0%

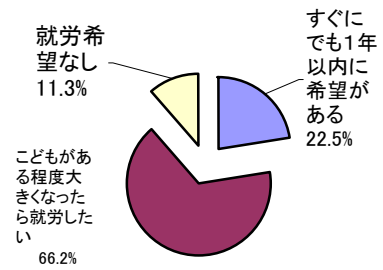


・母親 パート等/フルタイムへの転換希望

	人数	割合(%)
希望がある	7	38.9%
希望があるが予定はない	4	22.2%
希望はない	7	38.9%
合計	18	100.0%

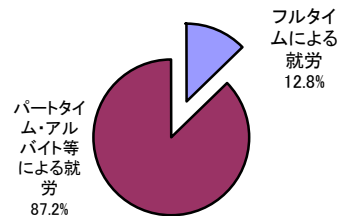
問6 母親の就労希望(単回答)

	人数	割合(%)
有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある)	16	22.5%
有(子どもがある程度大きくなったら就労したい)	47	66.2%
無	8	11.3%
合計	71	100.0%



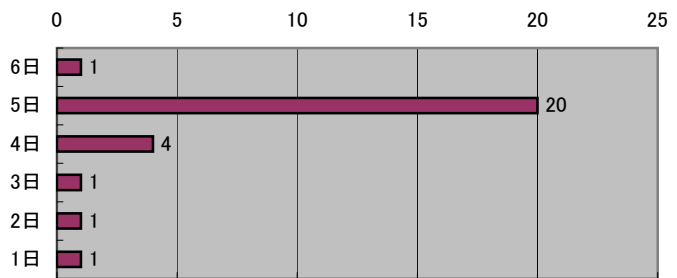
問6-1 就労希望の形態(単回答)

人数	人数	割合(%)
フルタイムによる就労	5	12.8%
パートタイム・アルバイト等による就労	34	87.2%
合計	39	100.0%



問6-1-2 母親 パート・アルバイト希望/1週当り就労日数

	人数	割合(%)
1日	1	3.6%
2日	1	3.6%
3日	1	3.6%
4日	4	14.3%
5日	20	71.4%
6日	1	3.6%
合計	28	100.0%



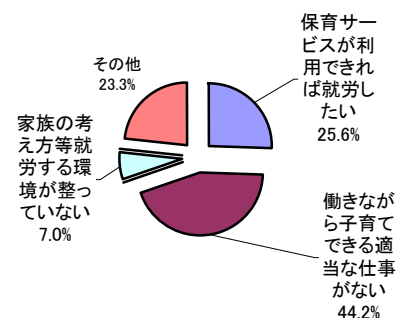
問6-1-3 母親 パート・アルバイト希望/1日当り就労時間

	人数	割合(%)
2時間		
3時間	1	3.6%
4時間	7	25.0%
5時間	10	35.7%
6時間	9	32.1%
7時間	1	3.6%
8時間		
合計	28	100.0%



問6-2 母親 就労希望がありながら現在働いていない理由(単回答)

	人数	割合(%)
保育サービスが利用できれば就労したい	11	25.6%
働きながら子育てできる適当な仕事がない	19	44.2%
自分の知識、能力にあう仕事がない		
家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない	3	7.0%
その他	10	23.3%
合計	43	100.0%

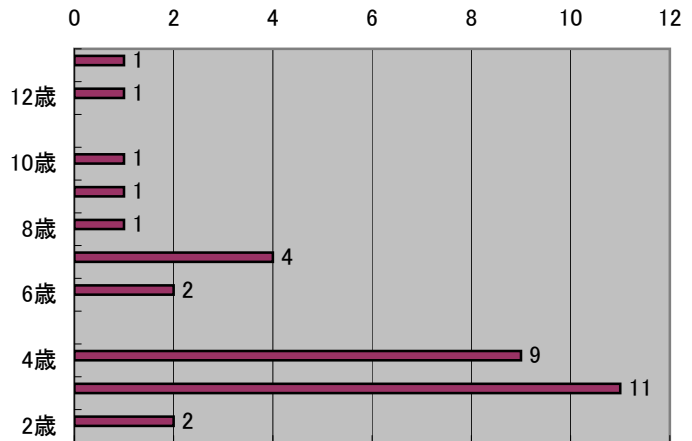


・その他 意見

- ・親が側にいてあげたい
- ・下の子が小さい
- ・子どもが大きくなるまで働かなくてもよい
- ・妊娠中
- ・父母の考えで幼稚園まで側にいる

問6-3 一番小さい子が何歳になったときに就労を希望するか

	人数	割合(%)
2歳	2	6.1%
3歳	11	33.3%
4歳	9	27.3%
5歳		
6歳	2	6.1%
7歳	4	12.1%
8歳	1	3.0%
9歳	1	3.0%
10歳	1	3.0%
11歳		
12歳	1	3.0%
13歳	1	3.0%
合計	33	93.9%



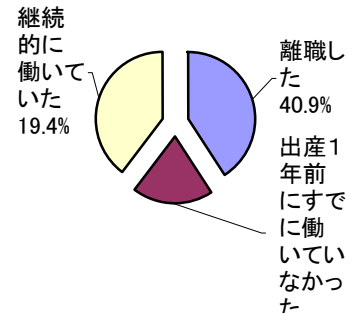
母親の離職状況

子どもの出産前後の母親の離職については、約41%が該当しており、出産1年前にすでに働いていなかった人も39%と多く、継続的に働いていた人は約19%にとどまります。

離職した母親の考えとしては、育児に専念したいので、いずれにせよやめていたという人が約44%を占めており、保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば継続して就労していたという人は26.9%となっています。

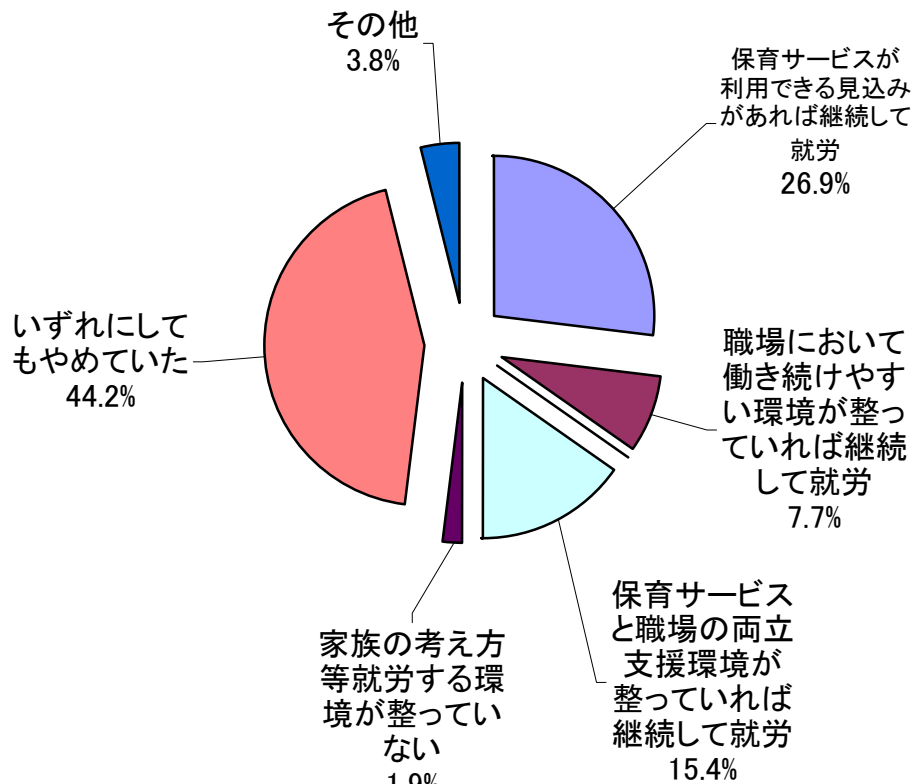
問7 出産前後の離職(単回答)

	人数	割合(%)
離職した	38	40.9%
継続的に働いていた(転職も含む)	18	19.4%
出産1年前にすでに働いていなかった	37	39.8%
合計	93	100.0%



問7-1 離職した母親の考え(単回答)

	人数	割合(%)
保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた	14	26.9%
職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば継続して就労していた	4	7.7%
保育サービスと職場の両立支援環境どちらも整っていれば、継続して就労していた	8	15.4%
家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない	1	1.9%
いずれにしてもやめていた	23	44.2%
その他	2	3.8%
合計	52	100.0%

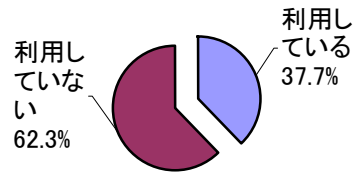


保育サービスの利用

日頃、保育サービスを利用している人は、約38%となっています。

問8 保育サービスの利用について(単回答)

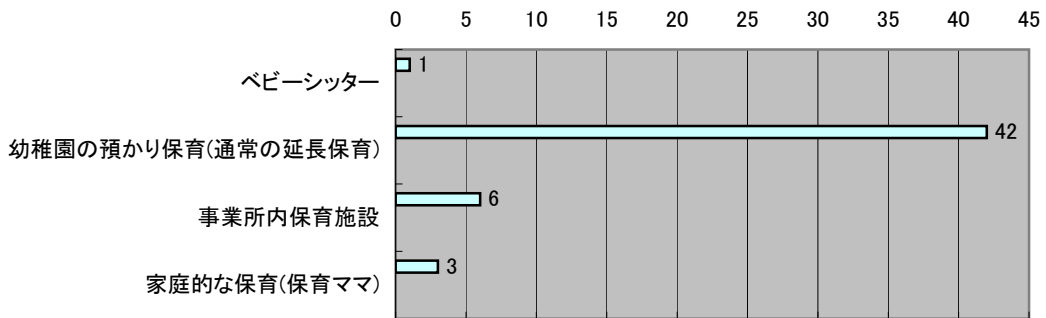
	人数	割合(%)
利用している	46	37.7%
利用していない	76	62.3%
合計	122	100.0%



利用している保育サービスとしては、幼稚園が約80で最も多くなっています。利用日数については、週5日の利用が最も多く、7日のケースもみられます。1日の利用時間は3時間が多く、開始時間は8～9時、終了時間は16時が最も多くなっています。各種の保育サービスを利用する理由としては、世話をしている人(主に母親)が就労している、子どもの教育のためとなっています。

問8-1 利用している保育サービス(複数回答)

	人数	割合(%)
家庭的な保育(保育ママ)	3	5.8%
事業所内保育施設	6	11.5%
幼稚園の預かり保育(通常の延長保育)	42	80.8%
ベビーシッター	1	1.9%
その他の保育施設		
合計	52	100.0%



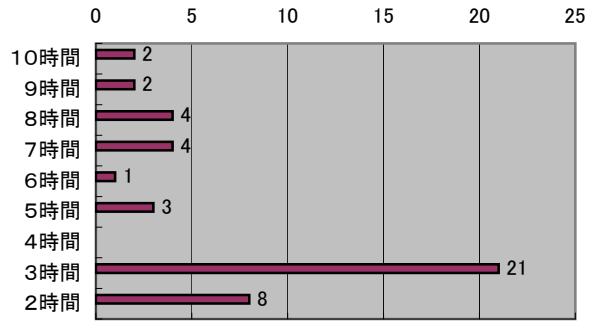
問8-2 保育利用者の1週当り利用日数

	人数	割合(%)
1日	1	2.2%
2日		
3日	2	4.4%
4日	1	2.2%
5日	39	86.7%
6日		
7日	2	4.4%
合計	45	100.0%



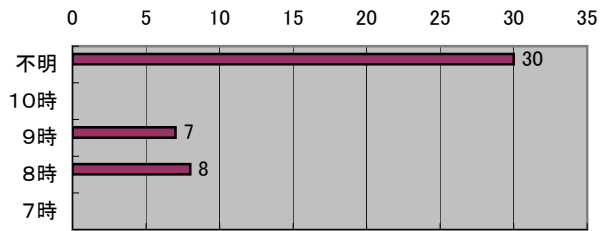
問8-2 保育利用者の1日当り利用時間

	人数	割合(%)
2時間	8	17.8%
3時間	21	46.7%
4時間		
5時間	3	6.7%
6時間	1	2.2%
7時間	4	8.9%
8時間	4	8.9%
9時間	2	4.4%
10時間	2	4.4%
合計	45	100.0%



問8-2 保育利用者の利用開始時間

	人数	割合(%)
7時		
8時	8	17.8%
9時	7	15.6%
10時		
不明	30	66.7%
合計	45	100.0%



問8-2 保育利用者の利用終了時間

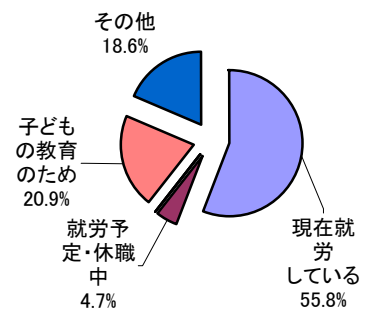
	人数	割合(%)
13時	1	2.2%
14時		
15時	12	26.7%
16時	25	55.6%
17時	5	11.1%
18時	2	4.4%
合計	45	100.0%



問8-3 保育サービスを利用している理由(単回答)

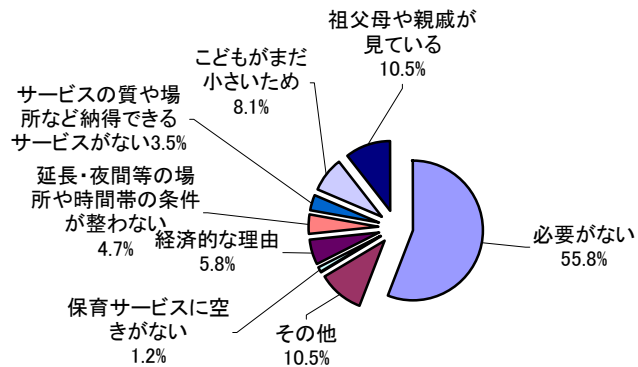
・お子さんの身の回りの世話をしている方が

	人数	割合(%)
現在就労している	24	55.8%
就労予定がある/求職中である	2	4.7%
家族・親族などを介護しなければならない		
病気や障害をもっている		
学生である		
こどもの教育のため	9	20.9%
その他	8	18.6%
合計	43	100.0%



問8-4 保育サービスを利用していない理由(単回答)

	人数	割合(%)
必要がない	48	55.8%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	9	10.5%
近所の人や父母の友人・知人がみている		
預けたいが保育サービスにあきがない	1	1.2%
預けたいが経済的な理由でサービスを利用できない	5	5.8%
預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない	4	4.7%
預けたいがサービスの質や場所など、納得できるサービスがない	3	3.5%
子どもがまだ小さいため	7	8.1%
その他	9	10.5%
合計	86	100.0%



問8-4 保育サービスを利用していない理由

子どもが小さいため、何歳くらいになったら預けようと考えている	3歳	3人
--------------------------------	----	----

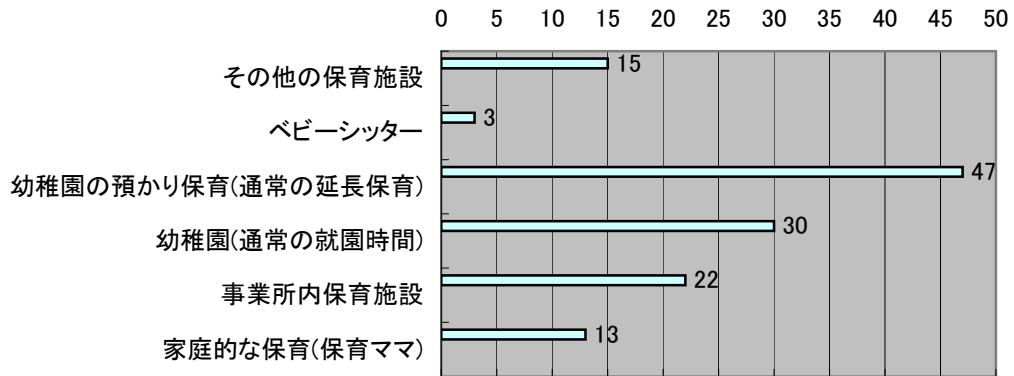
その他理由

- ・子どもが昼寝をいやがるため
- ・保育をいやがるため

サービスの利用希望

問9 今は利用していないが、できれば利用したい、足りていないと思う保育サービス
(複数回答)

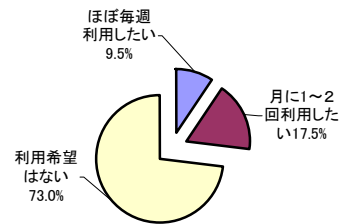
	人数	割合(%)
家庭的な保育(保育ママ)	13	10.0%
事業所内保育施設	22	16.9%
幼稚園(通常の就園時間)	30	23.1%
幼稚園の預かり保育(通常の延長保育)	47	36.2%
ベビーシッター	3	2.3%
その他の保育施設	15	11.5%
合計	130	100.0%



問10 土・日曜日・祝日の保育サービス利用希望

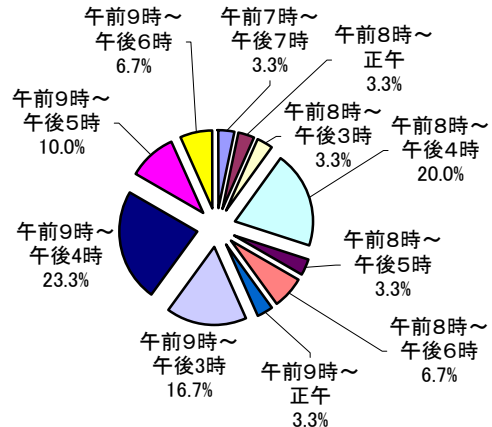
・土曜日

	人数	割合(%)
ほぼ毎週利用したい	12	9.5%
月に1~2回は利用したい	22	17.5%
利用希望はない	92	73.0%
合計	126	100.0%



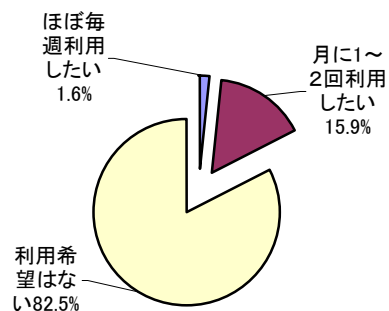
・利用希望時間帯

時間帯	人数	割合(%)
午前7時~午後7時	1	3.3%
午前8時~正午	1	3.3%
午前8時~午後3時	1	3.3%
午前8時~午後4時	6	20.0%
午前8時~午後5時	1	3.3%
午前8時~午後6時	2	6.7%
午前9時~正午	1	3.3%
午前9時~午後3時	5	16.7%
午前9時~午後4時	7	23.3%
午前9時~午後5時	3	10.0%
午前9時~午後6時	2	6.7%
合計	30	100.0%



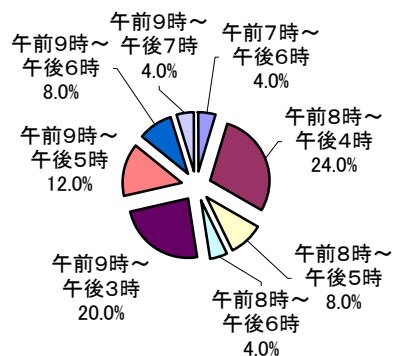
・日曜日

	人数	割合(%)
ほぼ毎週利用したい	2	1.6%
月に1~2回は利用したい	20	15.9%
利用希望はない	104	82.5%
合計	126	100.0%



・利用希望時間帯

	人数	割合(%)
午前7時~午後6時	1	4.0%
午前8時~午後4時	6	24.0%
午前8時~午後5時	2	8.0%
午前8時~午後6時	1	4.0%
午前9時~午後3時	5	20.0%
午前9時~午後5時	3	12.0%
午前9時~午後6時	2	8.0%
午前9時~午後7時	1	4.0%
合計	21	84.0%



お子さんの病児・病後児保育について

病気やケガが保育サービスが利用できなかったことについては、19%が経験があり、母親が仕事を休んで対応したケースが多く、父親が仕事を休んだに続きます。

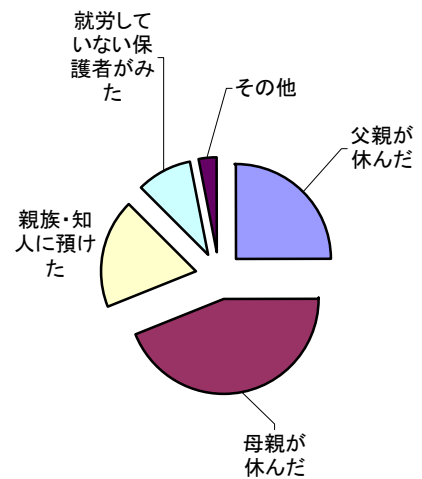
問11 保育サービスを利用して、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか(単回答)

	人数	割合(%)
あった	15	19.2%
なかった	63	80.8%
合計	78	100.0%



問11-1 お子さんが病気やケガで保育サービスが利用できなかった場合の対処方法、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。

		人数	割合(%)	合計人数
父親が休んだ	1日	1	12.5%	8人
	2日	1	12.5%	
	3日	4	50.0%	
	5日	1	12.5%	
	10日	1	12.5%	
母親が休んだ	1日	2	14.3%	14人
	2日	3	21.4%	
	3日	2	14.3%	
	4日	1	7.1%	
	5日	1	7.1%	
	10日	2	14.3%	
	20日	2	14.3%	
	30日	1	7.1%	
親族・知人に預けた	1日	1	16.7%	6人
	2日	2	33.3%	
	4日	1	16.7%	
	5日	1	16.7%	
	7日	1	16.7%	
就労していない保護者がみた	5日	1	25.0%	3人
	10日	1	25.0%	
	14日	1	25.0%	
	20日	1	25.0%	
ベビーシッターを頼んだ				0人
仕方なく子どもだけで留守番させた				0人
その他				1人



問11-2 できれば施設に預けたい希望日数

5日	1人
25日	1人

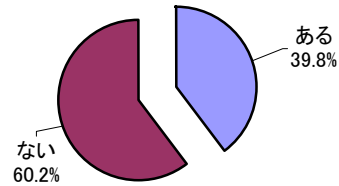
お子さんの一時預かりについて

保護者の都合で、家族以外に子どもを一時的に預けた経験があるという人は、約40%となっています。預けた日数については、年に1～5日程度以内が最も多く、次に10日～20日という人も多くなっています。

理由別の預けた日数については、私用(買い物・習い事等)・リフレッシュ目的では年に5日が多く、冠婚葬祭、保護者・家族の病気では年に1日程度ですが、就労のためでは20～40日というケースも多くみられます。

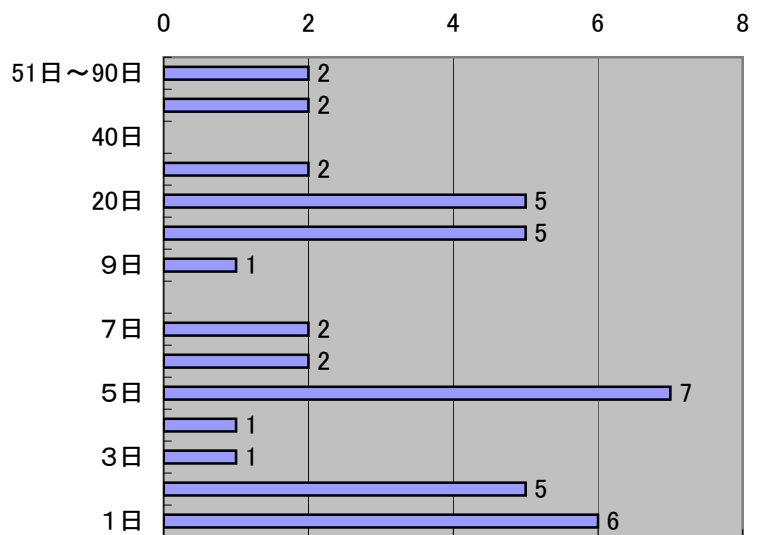
問12 この1年間で保護者の都合で家族以外の誰かに預けたことはありますか。

	人数	割合(%)
ある	43	39.8%
ない	65	60.2%
合計	108	100.0%



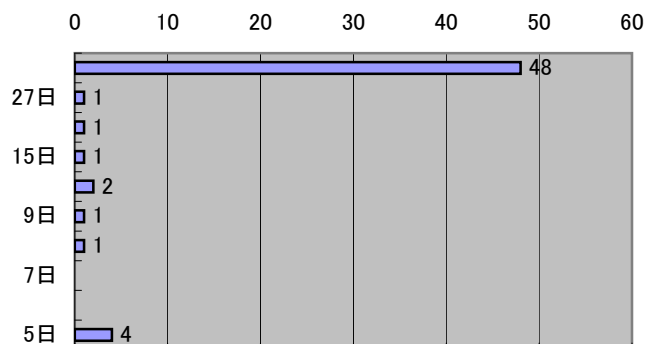
問12-1 家族以外に子どもを預けた年間日数

	人数	割合(%)
1日	6	14.6%
2日	5	12.2%
3日	1	2.4%
4日	1	2.4%
5日	7	17.1%
6日	2	4.9%
7日	2	4.9%
8日		
9日	1	2.4%
10日	5	12.2%
20日	5	12.2%
30日	2	4.9%
40日		
50日	2	4.9%
51日～90日	2	4.9%
合計	41	100.0%



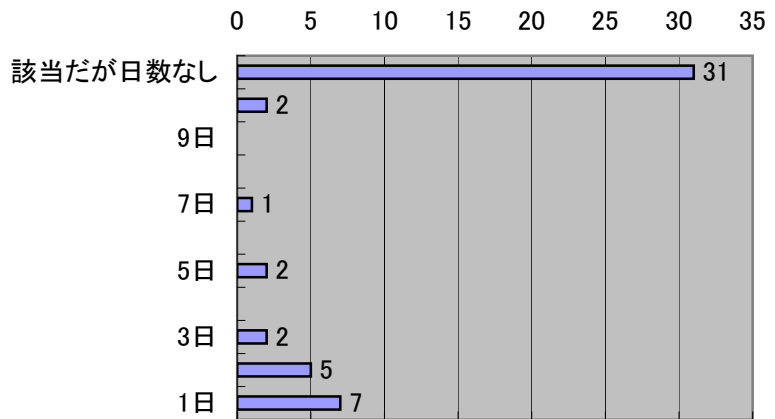
問12-① 私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的の日数

	人数	割合(%)
5日	4	6.8%
6日		
7日		
8日	1	1.7%
9日	1	1.7%
10日	2	3.4%
15日	1	1.7%
20日	1	1.7%
27日	1	1.7%
該当だが日数なし	48	81.4%
合計	59	100.0%



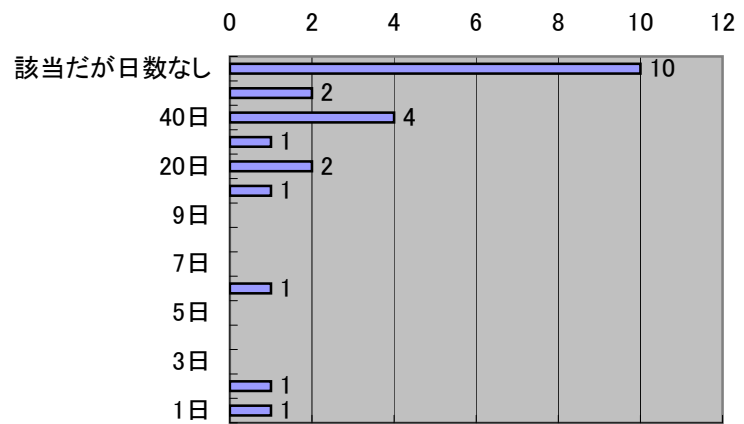
問12-② 冠婚葬祭、親の病気日数

	人数	割合(%)
1日	7	14.0%
2日	5	10.0%
3日	2	4.0%
4日		
5日	2	4.0%
6日		
7日	1	2.0%
8日		
9日		
10日	2	4.0%
該当だが日数なし	31	62.0%
合計	50	100.0%



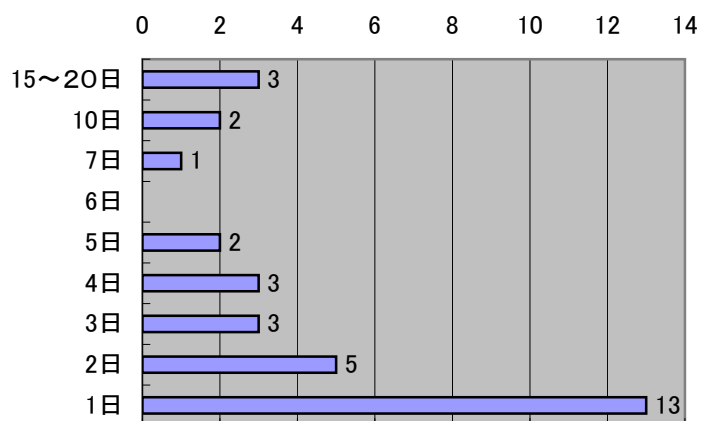
問12-③ 就労による日数

	人数	割合(%)
1日	1	4.3%
2日	1	4.3%
3日		
4日		
5日		
6日	1	4.3%
7日		
8日		
9日		
10日	1	4.3%
20日	2	8.7%
30日	1	4.3%
40日	4	17.4%
51日～90日	2	8.7%
該当だが日数なし	10	43.5%
合計	23	100.0%



問13 今は利用していない、できれば利用したい、回数を増やしたい希望日数(ひと月)

	人数	割合(%)
1日	13	40.6%
2日	5	15.6%
3日	3	9.4%
4日	3	9.4%
5日	2	6.3%
6日		
7日	1	3.1%
10日	2	6.3%
15～20日	3	9.4%
合計	32	100.0%



ベビーシッターの利用について

ベビーシッターの利用については、わずかに3人の利用があり、月に12日～20日、5日～10日の利用となっています。

問14 ベビーシッター利用の目的別(複数回答)

	人数	割合(%)
主たる保育サービスとして利用している	1	33.3%
保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)	2	66.7%
子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している		
祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している		
親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している		
その他の目的で利用している		
合計	3	100.0%

問14-1 利用頻度

	日数	人数		時間	人数
月に	12日	1人	1回あたり	5時間	1人
	20日	1人		10時間	1人
	合計	2人		合計	2人

地域子育て支援拠点事業の利用について

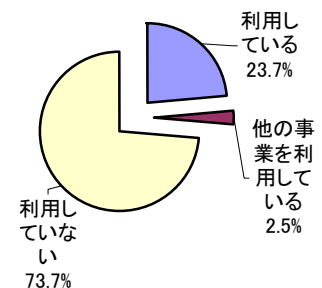
地域子育て支援拠点事業、その他の同様の事業の利用については、26%程度の利用率となっています。利用状況については、1週当たり1回～2回の利用が多くなっています。

また、今は利用していないが、利用希望については35%、利用回数増の1週当たりの回数は1回増が一番多く51%となっています。

現在利用していない理由としては、特に理由はないが34%と多く、時間がない16%、利用したいサービスが地域にないが12.6%と続いています。

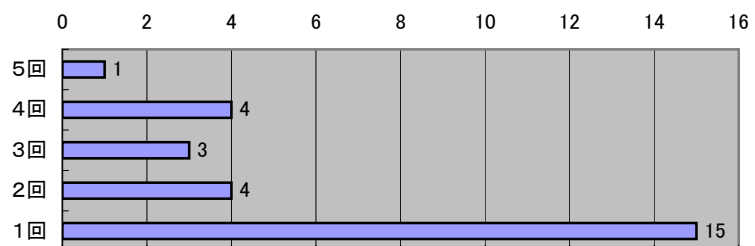
問15 地域子育て支援拠点事業の利用有無・回数について(単回答)

	人数	割合(%)
地域子育て支援拠点事業を利用している	28	23.7%
その他当該自治体で実施している同様の事業を利用している	3	2.5%
利用していない	87	73.7%
合計	118	100.0%



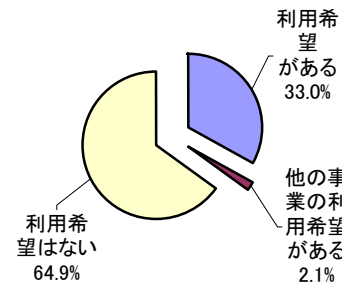
問15-① 地域子育て支援拠点事業の1週当たり利用回数について

	人数	割合(%)
1回	15	55.6%
2回	4	14.8%
3回	3	11.1%
4回	4	14.8%
5回	1	3.7%
合計	27	100.0%



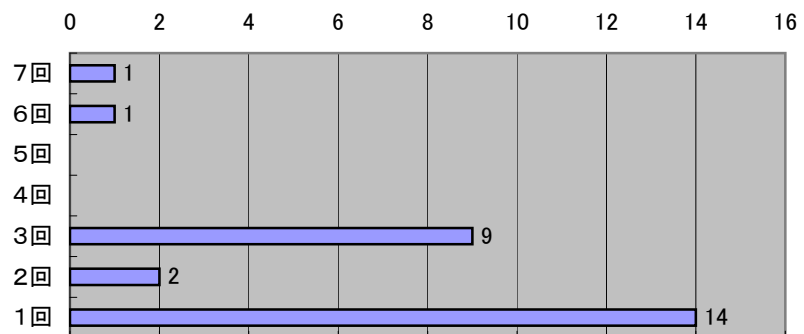
問16 今は利用していないが、利用希望がある。利用日数を増やしたい

	人数	割合(%)
利用希望がある	32	33.0%
他で実施している同様の事業の利用希望がある	2	2.1%
利用希望は特にな	63	64.9%
合計	97	100.0%



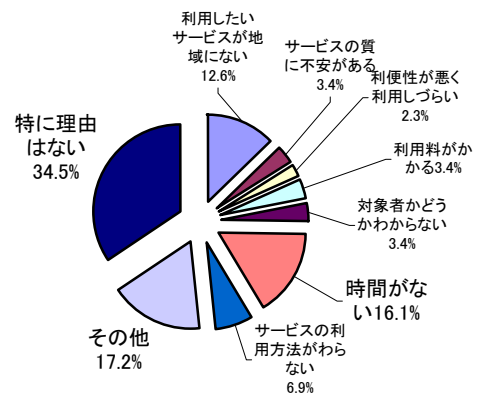
問16-① 利用日数増希望の1週当たり利用回数

	人数	割合(%)
1回	14	51.9%
2回	2	7.4%
3回	9	33.3%
4回		
5回		
6回	1	3.7%
7回	1	3.7%
合計	27	100.0%



問16-1 利用していない理由(単回答)

	人数	割合(%)
利用したいサービスが地域にない	11	12.6%
地域のサービスの質に不安がある	3	3.4%
地域のサービスの利便性が悪く利用しづらい	2	2.3%
利用料がかかる	3	3.4%
自分がサービスの対象者になるのかどうか分からない	3	3.4%
時間がない	14	16.1%
サービスの利用方法(手続き等)がわからない	6	6.9%
その他	15	17.2%
特に理由はない	30	34.5%
合計	87	100.0%



各子育て支援サービスの認知度・利用度については、知っている方は18%で、これまで利用したことがあるは10%、利用したことがない23%になっています。今後の利用度については18.8%になっています。

問17 子育て支援サービスの認知度・利用度について

・認知度

	知っている	割合(%)	知らない	割合(%)
母親学級・両親学級・育児学級	107	27.4%	16	4.5%
保健師による相談サービス	118	30.3%	8	2.3%
家庭教育による学級・講座	18	4.6%	106	30.0%
教育相談センター・教育相談室	29	7.4%	91	25.8%
保育所や幼稚園の園庭等の解放	84	21.5%	39	11.0%
子育ての総合相談窓口	34	8.7%	93	26.3%
合計	390	100.0%	353	100.0%

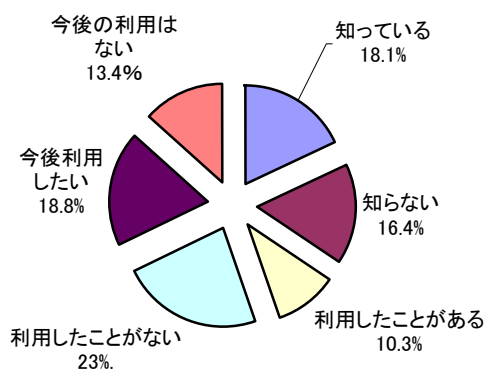
・利用度

	利用したことがある	割合(%)	利用したことがない	割合(%)
母親学級・両親学級・育児学級	83	37.4%	39	7.9%
保健師による相談サービス	73	32.9%	51	10.3%
家庭教育による学級・講座	2	0.9%	116	23.4%
教育相談センター・教育相談室	4	1.8%	113	22.8%
保育所や幼稚園の園庭等の解放	55	24.8%	65	13.1%
子育ての総合相談窓口	5	2.3%	112	22.6%
合計	222	100.0%	496	100.0%

・今後の利用度

	今後利用したい	割合(%)	今後利用はない	割合(%)
母親学級・両親学級・育児学級	67	16.5%	45	15.6%
保健師による相談サービス	81	20.0%	33	11.5%
家庭教育による学級・講座	48	11.8%	69	24.0%
教育相談センター・教育相談室	48	11.8%	67	23.3%
保育所や幼稚園の園庭等の解放	99	24.4%	20	6.9%
子育ての総合相談窓口	63	15.5%	54	18.8%
合計	406	100.0%	288	100.0%

子育て支援サービスの認知度・利用度

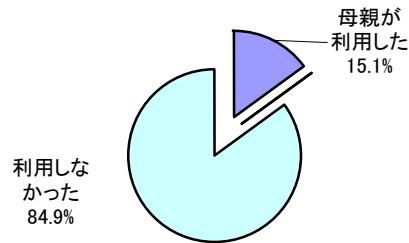


育児休業制度の利用について

母親または父親の育児休業制度の利用については、利用しなかったが最も多く85%で、次いで母親が利用した15%になっています。仕事復帰時の子どもの年齢は1歳が多く33.3%、次いで3歳、1か月が11.1%となっています。育児休業制度を利用しなかった理由として仕事を辞めたが61.1%、家族にみてもらうことで対応が22.2%と続いています。

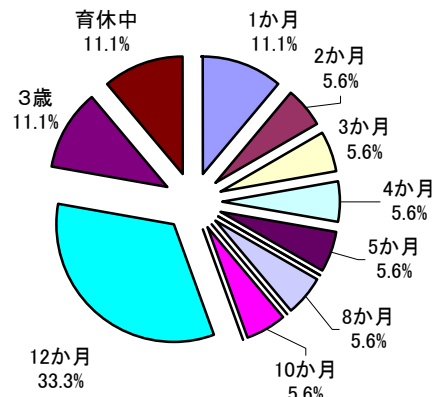
問18 両親の育児休業制度の利用

	人数	割合(%)
母親が利用した	18	15.1%
父親が利用した		
母親と父親の両方が利用した		
利用しなかった	101	84.9%
合計	119	100.0%



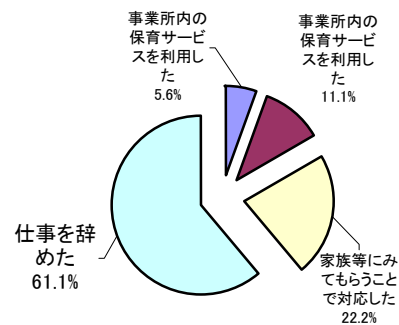
問18-1 復帰したときの子どもの月齢

	人数	割合(%)
1か月	2	11.1%
2か月	1	5.6%
3か月	1	5.6%
4か月	1	5.6%
5か月	1	5.6%
6か月		
7か月		
8か月	1	5.6%
9か月		
10か月	1	5.6%
11か月		
12か月	6	33.3%
3歳	2	11.1%
育休中	2	11.1%
合計	18	100.0%



問18-2 「利用しなかった」を選んだ方の対応

	人数	割合(%)
希望とは違う認可保育所を利用した		
事業所内の保育サービスを利用した	1	5.6%
上記以外の保育サービスを利用した	2	11.1%
家族等にみてもらうことで対応した	4	22.2%
仕事を辞めた	11	61.1%
合計	18	100.0%



【経済全般】

○ 給料が減っていく中で、次は産めないと思った。子育てしながらの仕事は結局ないと思う。会社側がいやがる。みんな税金の為に仕事している様なもんだと思う。税金に殺される。世の中金・金・金だと思ふ。

○ お金の面でもう少し楽になるといいです。

【保育園・幼稚園】

○ 幼稚園の預り保育時間が短い上にすぐに休みになる。会議時間の確保で時間が短くなることに納得できない。地域に認可保育園がないのは不思議です。未満児を預かっていただく施設を増やすべきです。仕事をしなくても小さい子どもを預かってくれる公的施設がなく困っています。役場がやっている時間までやってほしいです。近くに親戚や同居もしていないので。

○ 仕事を持っているため、幼稚園等が休園又は預かりがない日は、子供を1人でおき仕事をしています。融通の利く会社ですが、自分に任されている仕事をこなすのには、休みをとる事ができず、祖父母はいますが高齢、家庭内がうまくいっていないため預ける事もできません。子供の幼稚園が休みでも地域に遊ばせてやれる施設がもっと充実しているといいと思う事があります。幼稚園以外でもお友達と遊べる環境が欲しい。それには町の支援が必要になるかと思いますが何卒よろしく願います。たくさんの方が望んでいると思う。

○ もっと子育て支援など利用したいが入園前の子供が利用する以外に小学生でも利用できるものがありますか？子育てしていく上でわからない事を聞きたいが、そういうサービスがあるかわからないし、役所の方が羅臼の人だと普通の生活や子供に対する態度、価値観の違いなどから接しにくい。幼稚園にも色々な先生がいて色々な感情があって、どんな子供にも平等には接してないと思うからこの羅臼で安心して子育てをしていくのは無理。まず病院をなんとかして(夜中に子供が急病になった時みとくれる所が遠いなんて)子育ての必需品の基本を定着させてほしい。

○ 母親が働く為には日常的に子どもを安心して預けられる保育所が必要。町立の保育所が必要。町立の保育園がないのであれば、幼稚園などでも時間延長サービスの充実を図るべき。保健師の自宅訪問等はとても有難く継続して欲しいサービスです。自営業の多い土地ですが、母親の仕事や役割も多く福祉サービスにはよりいっそうの期待をしています。

○ 3歳以上の保育制度に不満はないが、2歳以下の子どもがいる1人親は日常的にあずかってくれる人がいないと働けません。ただでさえ、ひとり親の児童扶養手当が安いので働きたいのですが、現状では厳しいです。制度が整うのを待っています。

○ 母親が働けるように保育園など預ける場所がほしい。

○ 羅臼は同居或いは近居の人が多いため、町や幼稚園などの対応もそれが当たり前になっている気がします。たとえば幼稚園の説明会に片方の園は、子どもを連れて来ないで下さいとありました。私はそちらの園でしたが、その日は吹雪で預け先が町外の為、とても大変な思いをしました。ですがもう片方の園では子を連れて来て良いとあり、また説明会の間、子ども達を見てくれたようです。保育サービス(保育ママ)も手頃な値段ではないしなかなか気軽に預かれません。

○ 保育園がないため、復職するにも困難を感じました。一つでも良いので認可保育所を作ってほしいです。幼稚園では行事や夏休み期間もあり、また預り時間も短く、他の保育サービスを利用しなくてはなりません。それも個人的に探すのは苦勞します。公園も児童館もなく、学童児が安心して遊べる場がありません。各学区に一つでも整備してほしいです。

○ 羅臼は幼稚園しかないため、小さい子を持つ母親は不便を感じています。祖父母が近くにいない人も増えているので、預ける場所(保育所)があるといいです。幼稚園も預かりも午後カットというのが多くて、フルタイムで働く予定の我が家は不安です。「ありんこ」は職員の方々も暖かくてすごく助かっています。

○ 現在の幼稚園は午前8時～5時(預かりも含めて)の通園時間となっています。仕事をしている人のほとんどは5時までの勤務が多いので、迎えに行けない状況、又は仕事ができない。との話を聞きます。せめて5時30分までの預りにできないでしょうか。

○ 幼稚園前、保育をできる場があれば私が働きたいです。

- 各幼稚園や小学校に対応した通園・通学バスを作ってほしい。
- もっと小さい子供を預けたり、子供がもっと遊ばせられる施設や場所があれば親ももっと楽しく育児等ができると思います。
- 子供を預けられる人が回りにいないため、急な病院等で人に見てもらえる案内等を回覧等で知らせて欲しいです。(時間・料金等)幼稚園の降園時間を14時か14時半くらいに遅らせてほしいです。
- 自営業(漁業)だと忙しくなるかどうか毎日わからない。(網を上げてみないとわからない)急に仕事になる時に短時間でも預けられるところがあると助かります。漁師の多い町なので地域にあったサービスをしてほしい。

【子育て支援センター・児童館】

- 金銭的にもう少し安くなら利用したいです。子育て支援センターにも連れていってくれる人がいてくれたらいいと思います。
- 児童館があるといいです。
- 幼稚園前の子供たちの子育て支援「ありんこ」などをもっと活用したいが、現場にまで行かないと予定表など急に休みになっていたなどわからないので、メールサービスやネット提示などしてくれるとともに行きやすい。風邪が流行っている場合や風邪をひいている子が来たりしている場合など集団感染など気になって連れていけないので、良い対処方法をしてくれると行きやすいです。
- 仕事を長く続けられる様にしてほしいと思います。(パートなので)町内に児童館みたいなものができるといいと思います。
- 休日も仕事を休めない親の子供が遊べる利用できる施設があればいいと思う。例えば児童館など。そういう施設なら共働きの親も安心して子供を預けられるのではないと思う。この町は公園もあまり充実していないし、外で遊べる大きな広場がないから、その辺も考えてほしい。

【医療体制】

- 近くに病院がないのでケガや病気の時にすぐに行けない。
- 小児科を設けてほしい。きちんとした託児所があれば助かる。(資格所有者)
- 子どもを育てていく上で、もっとも心配なのが病気になることであり、この町には病院もなく近隣町まで行くのに1時間以上かかる。町外から来た人にとっては、親戚もなく父親が働きに行っている時に何かあったらと思うと非常不安になる。また、子どもを預ける施設の質的な問題にも不安を感じる。
- 安心して子育てをしていくために、地方の医療機関を充実させることが大切だと思う。特に居住地に親類や知人がなく、付近に病院がなかったりすると不安な気持ちになることがある。
- 就学児までの医療費を無料にしてほしい。
- 病院の充実
- 地元に小児科があれば良い。
- 羅臼町は特に病院の環境が整っていない、子供を育てていくうえでとても不安を感じる。具合が悪い状況でも1時間位車を走らせて体に負担がかかりすぎ。子供に関してだけでなく大人もそうだと思います。風邪ぐらいだったら診療所でもいいと思いますが、出産についても私みたいに切迫などの場合、親と同居していても親が仕事していれば見てもらえず、病院も遠く大変不便に思う。町等で親たちの飲み会などのお金があるならばもっと子供が遊べるアスレチック的な公園を作ってほしいと思う。
- 羅臼町に小児病院がないので不安です。

【公園・遊び場】

○ 公園の遊具を増やしてほしい。

○ 羅臼には公園が少なすぎるように思います。また予防接種など医療面での不安が大きいです。

○ 小さい子供が安心して遊べる公園等作ってほしいです。医療面でも小児科を診察できる医師などいないのでもっと子供にとって暮らしやすい環境になってほしいです。

【その他全般】

○ 子どもが小学校に通う(例えば10歳くらいまでは)間は、親のどちらかが家にいて、子どもと向き合える暮らしが出来るようになれば最高です。みんな、生活のため、子どもとの時間を削り働いていると思います。

○ 羅臼はいやだ。出たい。羅臼の人はへんな人ばかり。

○ 他の市町村では子どもが3人目から出産祝い金が出たりするようで、とてもうらやましく思います。羅臼は自営業が多い為、人口が減る心配もないし、少子化にはあまり力を入れてないのでしょうか。子どもが3人いますが、特に良い事もなく、なんだか他の市町村と比較してしまい、残念に思う時があります。(お金が欲しくて生んだ訳じゃありませんが)

○ 子どもを生んで育てていく上で、金銭面での問題は勿論あるし、医療機関が全然整っていない。何かあっても絶対中標津じゃなきゃ安心も出来ないけど、田舎だからを理由とは認められないし、託児サービス等がもっと充実してくれたらいいと思う。

○ アンケートをとった以上、集計は公表すべき

○ 公的保育機関の整備をしてほしい。予防接種の開始時期を法定期間どおりにしてほしい。現行では遅い。また個別接種だとおおよい。医療機関が遠いので予防できるものはなるべく早く手を打ちたい。

○ 育児休暇をもう少し長くしてほしいと思った。子供ほ預けられる所をもう少し増やしてほしいし、金額も安くしてほしい。月5万はきつい。

○ 羅臼は、仕事をしている親にとっては子供を安心して預けづらい町だと思います。

○ 私は、子供は3歳まで両親の愛情たっぷりうけた生活が一番だと思っています。だから父親にも、そして会社にももっと育児について学んでほしいです。(仕事で幼稚園の事業に参加できないことがないように)母親の負担が大きすぎます。二人の子供なんですから、保育サービスも高すぎです。母親がなぜ働いているのか。8割が生活のためです。働いた分保育料にかかるなら意味がありません。

保育料の無償化、労働時間の短縮。私個人の意見ですが、私はずっと介護の仕事をしてきました。子供が出来、子供が体調を崩す程に仕事を休み、二人目ができた時には会社の方から厳しいのでは？と言われ、退職を決めました。労働時間はあってないようなものなので、本当に大変でした。その時無認可の保育園しか空がなく、月6万円もとられました。私の給料の半分くらい。羅臼町でも介護の仕事がしたいですが、保育サービスが高く、充実していないようなので、あと数年は現場には戻れませんね。

○ 児童手当が納得いきません。所得が高いから対象外というのは不公平じゃないですか。所得が高い人はそれなりの税金を納めているので所得に応じて配布するべきです。今のあり方に納得いきません。

就学児童調査目次

9. 子どもの生年月日・兄弟姉妹の数	27
10. お父さん・お母さんの就労状況	31
11. お子さんの病児・病後児保育について	35
12. お子さんの一時預りについて	36
13. 自由意見	39

就学児童調査

子どもの生年月・兄弟姉妹の数

あて名の子どもの生年月から、年度別の集計を行ったところ、平成13年度生まれが約25%で最も多く、翌年度生まれの8歳児以降は少ない傾向があります。

また、兄弟姉妹は2人が約58.8%で最も多く、3人が約24.4%、1人10%と続きます。
あて名のお子さんは兄弟姉妹の2番目が41%と多く、次に1番目31%となっています。

問1 あて名のお子さんの生まれ年

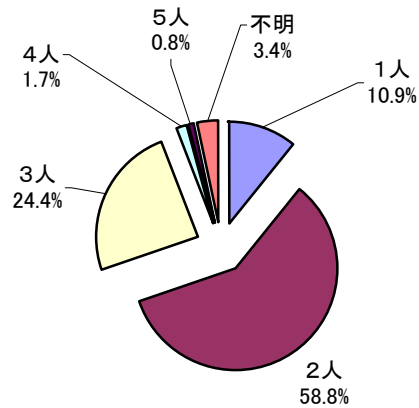
	人数	割合(%)
平成9年	15	12.6%
平成10年	11	9.2%
平成11年	16	13.4%
平成12年	16	13.4%
平成13年	29	24.4%
平成14年	21	17.6%
平成15年	6	5.0%
平成16年		
平成17年	1	0.8%
不明	4	3.4%
合計	119	100.0%

・あて名のお子さんの生まれ月

	人数	割合(%)
1月	11	9.2%
2月	10	8.4%
3月	4	3.4%
4月	8	6.7%
5月	8	6.7%
6月	11	9.2%
7月	8	6.7%
8月	12	10.1%
9月	10	8.4%
10月	11	9.2%
11月	14	11.8%
12月	10	8.4%
不明	2	1.7%
合計	119	100.0%

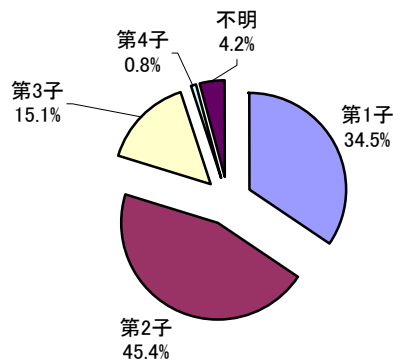
・兄弟姉妹人数(あて名のお子さんも含めて)

	人数	割合(%)
1人	13	10.9%
2人	70	58.8%
3人	29	24.4%
4人	2	1.7%
5人	1	0.8%
不明	4	3.4%
合計	119	100.0%



・あて名のお子さんは第何子

	人数	割合(%)
第1子	41	34.5%
第2子	54	45.4%
第3子	18	15.1%
第4子	1	0.8%
不明	5	4.2%
合計	119	100.0%



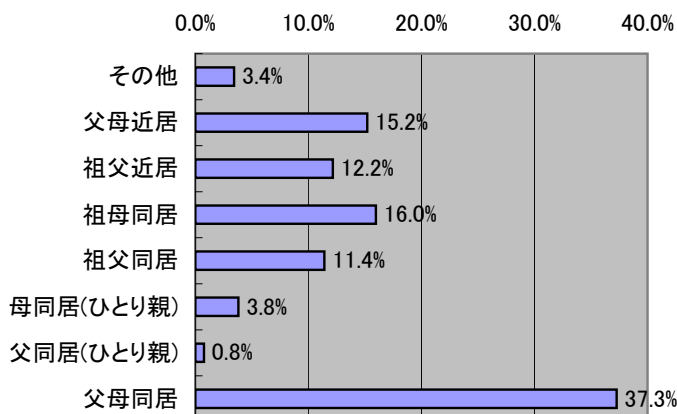
・父母双方との同居がほとんどを占めています。このほか、祖父母と同居するものが30～42%となって祖父母との近居をあわせると、全体の半数程度が祖父母が身近な存在となっています。

また、日頃お子さんを預かってもらえる人については、緊急時や用事の際は祖父母、親族に預かってもらえるが36.3%と多く、日常的に預かってもらえるが30%になっています。比較的預かってもらやすい状況となっているようです。

問2 お子さんとの同居・近居の状況

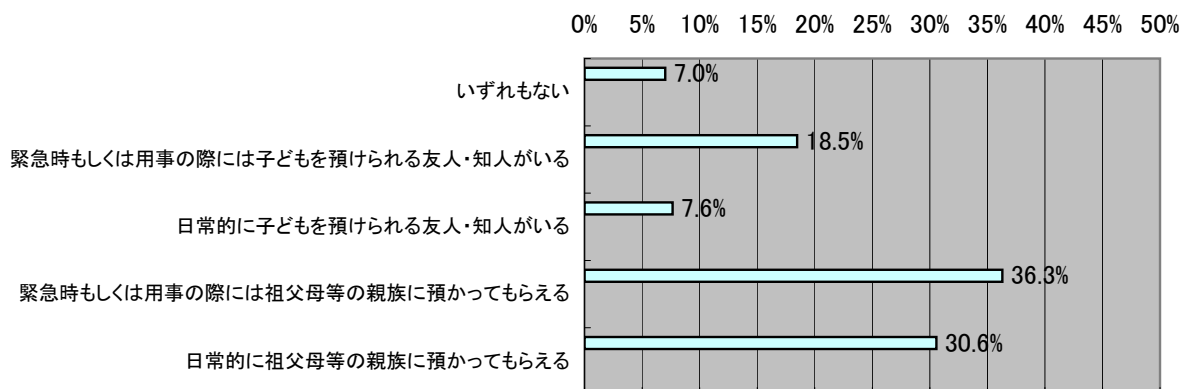
・あて名のお子さんの同居・近居状況(複数回答)

	人数	割合(%)
父母同居	98	37.3%
父同居(ひとり親)	2	0.8%
母同居(ひとり親)	10	3.8%
祖父同居	30	11.4%
祖母同居	42	16.0%
祖父近居	32	12.2%
父母近居	40	15.2%
その他	9	3.4%
合計	263	100.0%



問3 日頃、お子さんを預かってもらえる人(複数回答)

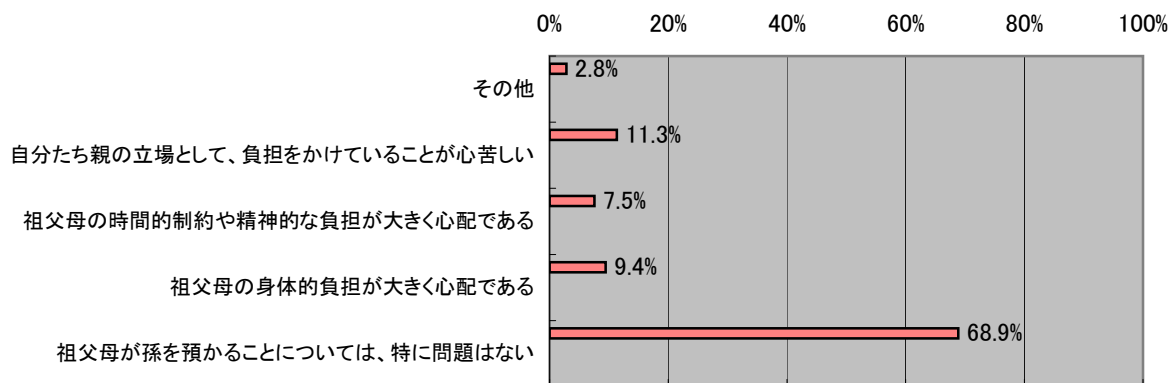
	人数	割合(%)
日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	48	30.6%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	57	36.3%
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	12	7.6%
緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	29	18.5%
いずれもない	11	7.0%
合計	157	100.0%



・子どもの主な養育者は、母親が93%で父親が2.5%、祖父母やその他は稀な例となっています。友人・知人に預かってもらっている状況については、友人・知人預かってもらえることに問題はないが47%で負担をかけていることを心苦しんでいる人も23.5%となっています。祖父母等に預かってもらえる場合の状況は、特に問題がない人が68.9%と多くを占めています。このほか、親の立場として負担をかけることが心かしいという声が11.3%、祖父母の身体的負担が大きいといった声も目立ちます。

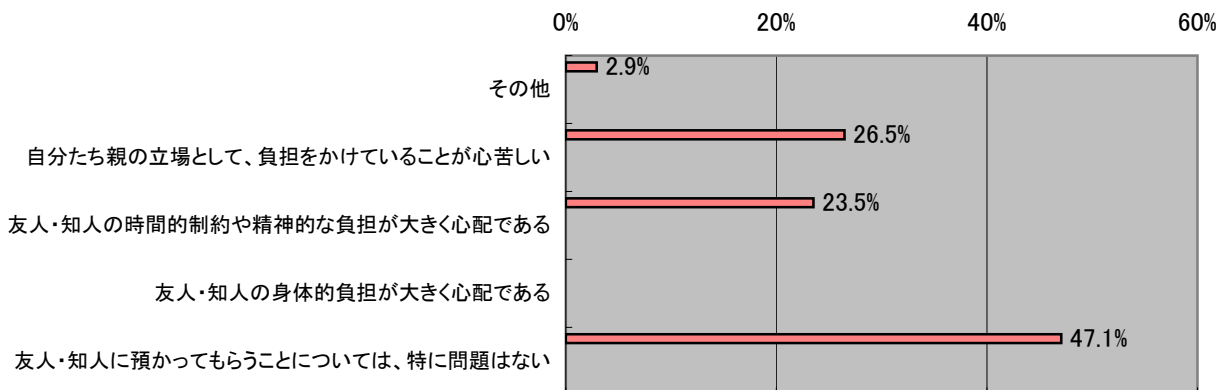
問3-1 祖父母に預かってもらっている状況(複数回答)

	人数	割合(%)
祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない	73	68.9%
祖父母の身体的負担が大きく心配である	10	9.4%
祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	8	7.5%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心かしい	12	11.3%
その他	3	2.8%
合計	106	100.0%



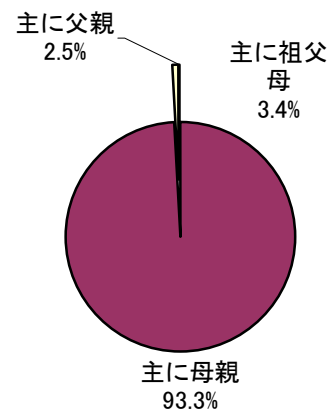
問3-2 友人や知人に預かってもらっている状況(複数回答)

	人数	割合(%)
友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない	16	47.1%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	0	0%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	8	23.5%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心かしい	9	26.5%
その他	1	2.9%
合計	34	100.0%



問4 お子さんの世話を主にしている方
(単回答)

	人数	割合(%)
主に父親	3	2.5%
主に母親	111	93.3%
主に祖父母	4	3.4%
その他	1	0.8%
合計	119	100.0%



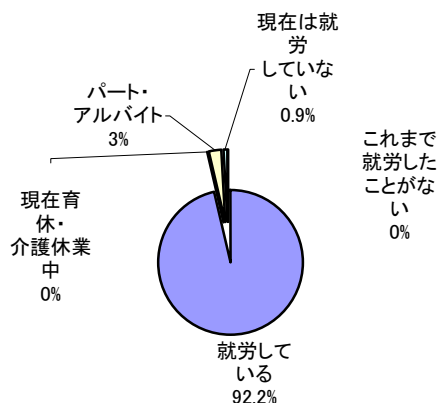
お父さん・お母さんの就労状況

・就労しているが約92.2%となっています。

1週当りの就労時間は、60～69時間が20.2%で多く、週5日勤務を想定すると1日当り8～10時間の勤務時間となります。次いで40～49時間 15.1%、70時間超や80時間超など長時間勤務も見られます。常勤の帰宅時間は19～21時を中心に、漁業者が多い為13時～15時の帰宅も多く見られます。

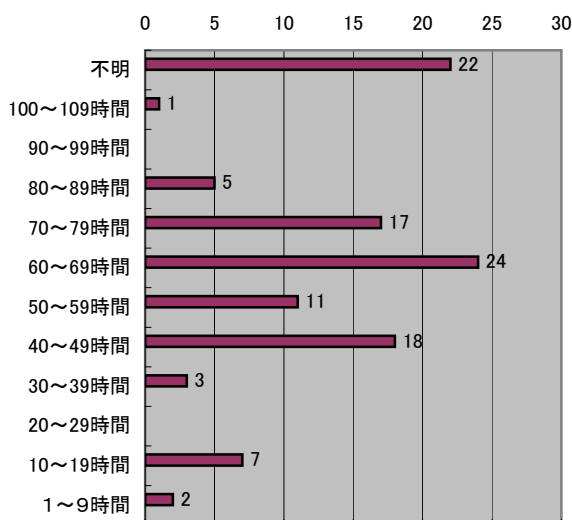
問5 父親の就労状況(単回答)

	人数	割合(%)
就労している(フルタイム)	106	92.2%
就労しているが現在、育休・介護休業中		
パートタイム、アルバイト等	3	2.6%
以前は就労していたが、現在は就労していない	1	0.9%
これまでに就労したことがない		
合計	110	100.0%



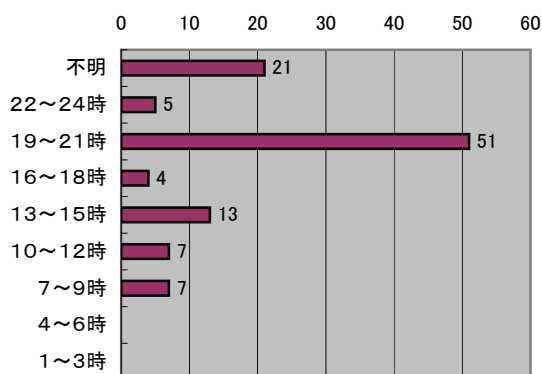
・父親 就労している/1週当り平均就労時間

	人数	割合(%)
1～9時間	2	1.7%
10～19時間	7	5.9%
20～29時間		
30～39時間	3	2.5%
40～49時間	18	15.1%
50～59時間	11	9.2%
60～69時間	24	20.2%
70～79時間	17	14.3%
80～89時間	5	4.2%
90～99時間		
100～109時間	1	0.8%
不明	22	18.5%
合計	110	92.4%



・父親 就労している/平均帰宅時間

	人数	割合(%)
1～3時		0.0%
4～6時		0.0%
7～9時	7	7.0%
10～12時	7	7.0%
13～15時	13	13.0%
16～18時	4	4.0%
19～21時	51	51.0%
22～24時	5	5.0%
不明	21	21.0%
合計	108	108.0%



・父親 フルタイムへの転換希望

回答なし

母親の就労状況はパート、アルバイトが43.5%と半数近くになっています。次にフルタイムで就労している人は30.4%、以前は就労していたが、現在は就労していない人は21.7%となっています。常勤の1週当りの就労時間は父親と同じく40～49時間が多く、約35%を占めています。このほか30～39時間50～59時間の人が続いています。

常勤の帰宅時間は、17時が多くなっていますが回答が少ないため、詳細は不明です。

パートタイムの一日の就労時間ですが、5時間～6時間が多く約30%になっています。

中には、9時間～10時間も就労している人もいます。

パートタイム等の人のフルタイムへの転換希望については、希望はない人65%、希望はあるが予定がない人は34%となっています。

今後の就労希望については、子どもが大きくなったら働きたい人が約58.1、すぐにでも働きたい人は16.1%と少数にとどまります。

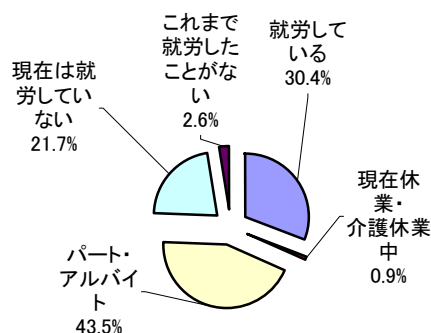
就労希望のある人の働き方については、パートタイム等が70%になっています。

パートタイム等を希望する人の週当たりの就労日数は、5日を中心に3日～4日程度が多くなっており、1日5～6時間程度の希望が多くなっています。

就労する希望がありながら、現在働いていない理由については、働きながら子育てできる適当な仕事がないからというものが約33%で多く、保育サービスが利用できれば就労したいが22%になっています。

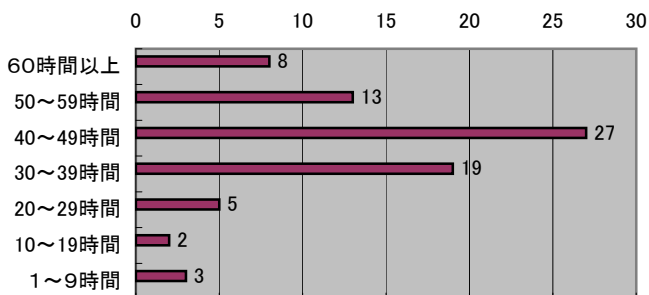
問5 母親の就労状況(単回答)

	人数	割合(%)
就労している(フルタイム)	35	30.4%
就労しているが現在、育休・介護休業中	1	0.9%
パートタイム、アルバイト等	50	43.5%
以前は就労していたが、現在は就労していない	25	21.7%
これまでに就労したことがない	3	2.6%
合計	114	100.0%



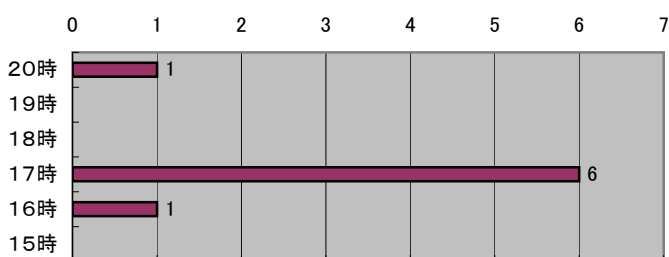
・母親 就労している/1週当たり平均就労時間

就労時間	人数	割合(%)
1～9時間	3	3.9%
10～19時間	2	2.6%
20～29時間	5	6.5%
30～39時間	19	24.7%
40～49時間	27	35.1%
50～59時間	13	16.9%
60時間以上	8	10.4%
合計	77	100.0%



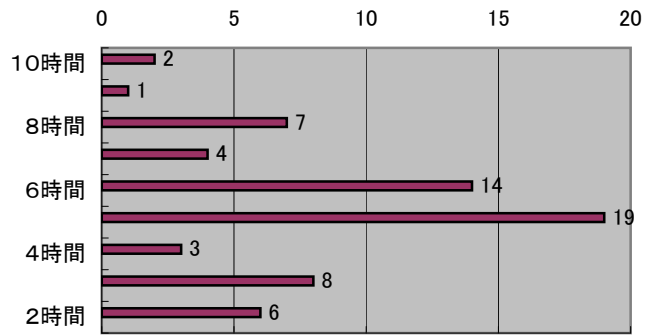
・母親 就労している/平均帰宅時間

帰宅時間	人数	割合(%)
15時		
16時	1	12.5%
17時	6	75.0%
18時		
19時		
20時	1	12.5%
合計	8	100.0%



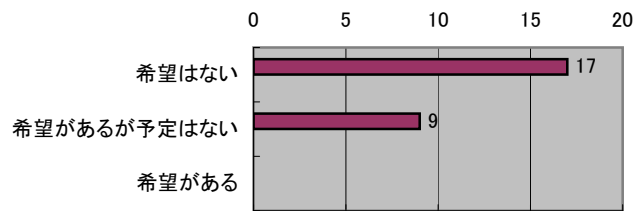
・母親 パート等/1日当り就労時間

	人数	割合(%)
2時間	6	9.4%
3時間	8	12.5%
4時間	3	4.7%
5時間	19	29.7%
6時間	14	21.9%
7時間	4	6.3%
8時間	7	10.9%
9時間	1	1.6%
10時間	2	3.1%
合計	64	100.0%



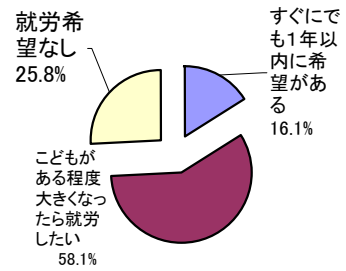
・母親 パート等/フルタイムへの転換希望

	人数	割合(%)
希望がある		
希望があるが予定はない	9	34.6%
希望はない	17	65.4%
合計	26	100.0%



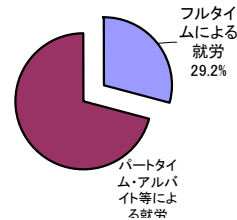
問6 母親の就労希望(単回答)

	人数	割合(%)
有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある)	5	16.1%
有(子どもがある程度大きくなったら就労したい)	18	58.1%
無	8	25.8%
合計	31	100.0%



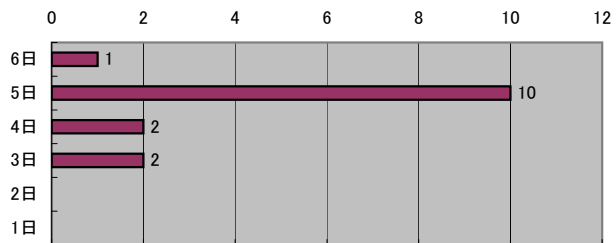
問6-1 就労希望の形態(単回答)

	人数	割合(%)
フルタイムによる就労	7	29.2%
パートタイム・アルバイト等による就労	17	70.8%
合計	24	100.0%



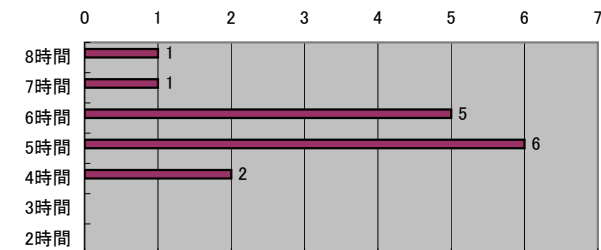
問6-1-2 母親 パート・アルバイト希望/1週当り就労日数

	人数	割合(%)
1日		
2日		
3日	2	13.3%
4日	2	13.3%
5日	10	66.7%
6日	1	6.7%
合計	15	100.0%



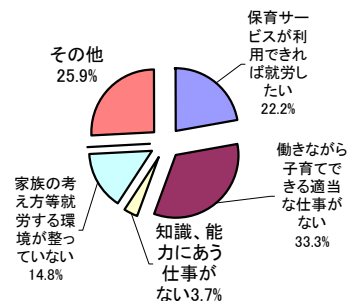
問6-1-3 母親 パート・アルバイト希望/1日当り就労時間

	人数	割合(%)
2時間		
3時間		
4時間	2	13.3%
5時間	6	40.0%
6時間	5	33.3%
7時間	1	6.7%
8時間	1	6.7%
合計	15	100.0%



問6-2 母親 就労希望がありながら現在働いていない理由(単回答)

	人数	割合(%)
放課後クラブなどのサービスが利用できれば就労したい	6	22.2%
働きながら子育てできる適当な仕事がない	9	33.3%
自分の知識、能力にあう仕事がない	1	3.7%
家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない	4	14.8%
その他	7	25.9%
合計	27	100.0%



・その他 意見

- ・自営業のため出られない
- ・下の子が小さい
- ・自分の一番やりたい事が子供を育てる事
- ・働かなくてもよい
- ・自分に合う仕事がない

お子さんの病児・病後児保育について

この一年間にお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった事は34%で、仕事を休んだ日数1日～3日休んだ日数が多く、母親が休んだ割合が多くなっています。次に就労していない保護者が見ていたとなっています。

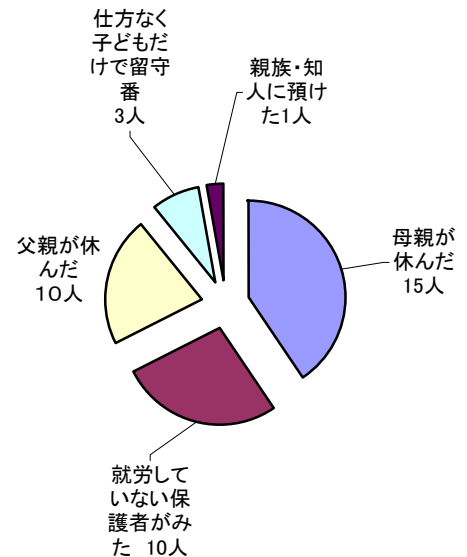
問7 この一年間にお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか(単回答)

	人数	割合(%)
あった	27	34.2%
なかった	52	65.8%
合計	79	100.0%



問7-1 この一年間にお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。

		人数	割合(%)	合計人数
父親が休んだ	1日			
	2日	3	37.5%	
	3日	2	25.0%	
	5日	1	12.5%	
	10日	2	25.0%	8人
母親が休んだ	1日	3	20.0%	
	2日	2	13.3%	
	3日	3	20.0%	
	4日	2	13.3%	
	5日	2	13.3%	
	10日	3	20.0%	15人
親族・知人に預けた	1日			
	2日	1	100.0%	
	3日			
	4日			1人
就労していない保護者がみた	1日	2	20.0%	
	2日	2	20.0%	
	3日	2	20.0%	
	5日	4	40.0%	10人
ベビーシッターを頼んだ				
	仕方なく子どもだけで留守番させた	1日	1	33.3%
その他				
		3日	2	66.7%



問7-2 できれば施設に預けたい希望日数

2日	1人
5日	1人
7日	1人

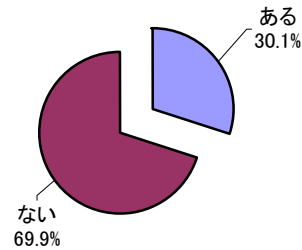
お子さんの一時預かりについて

保護者の都合で、家族以外に子どもを一時的に預けた経験があるという人は、約30%となっています。預けた日数については、年に5日程度が最も多く、次に10日～20日という人も多くなっています。

理由別の預けた日数については、私用(買い物・習い事等)・リフレッシュ目的では年に2日、冠婚葬祭保護者・家族の病気では年に1日～2日程度ですが、就労のためでは10日以上の場合もみられます。

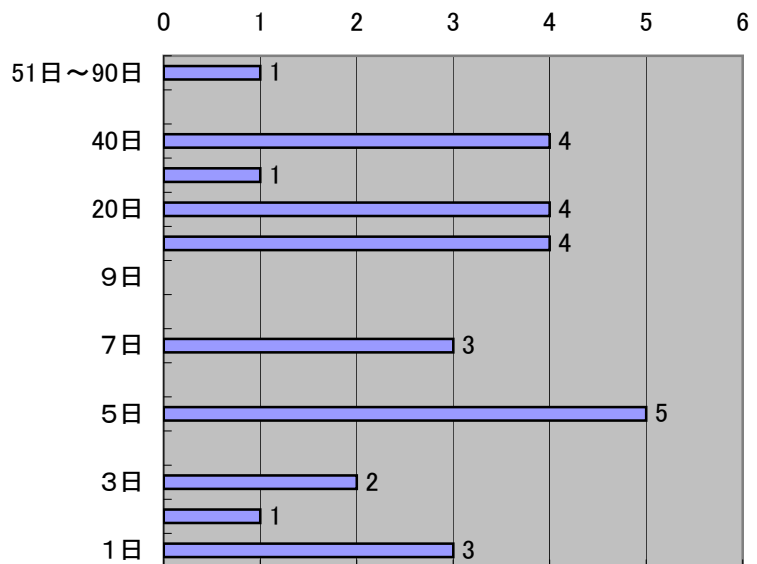
問8 この1年間で保護者の都合で家族以外の誰かに預けたことはありますか。

	人数	割合(%)
ある	34	30.1%
ない	79	69.9%
合計	113	100.0%



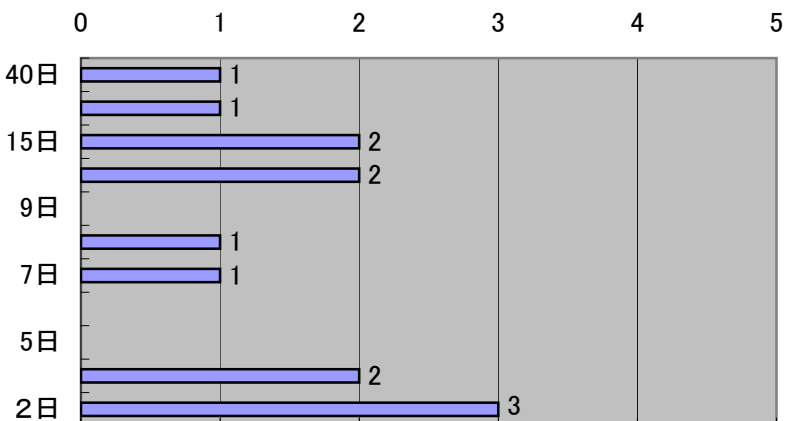
問8-1 家族以外に子どもを預けた年間日数

	人数	割合(%)
1日	3	10.3%
2日	1	3.4%
3日	2	6.9%
4日		
5日	5	17.2%
6日		
7日	3	10.3%
8日		
9日		
10日	4	13.8%
20日	4	13.8%
30日	1	3.4%
40日	4	13.8%
50日		
51日～90日	1	3.4%
90日以上	1	3.4%
合計	29	100.0%



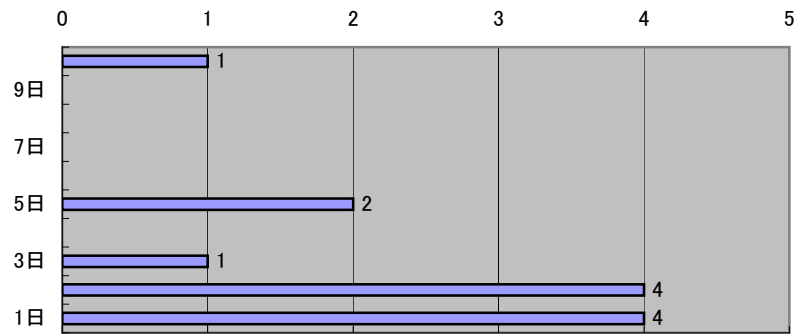
問8-① 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的の日数

	人数	割合(%)
2日	3	23.1%
3日	2	15.4%
5日		
6日		
7日	1	7.7%
8日	1	7.7%
9日		
10日	2	15.4%
15日	2	15.4%
30日	1	7.7%
40日	1	7.7%
合計	13	100.0%



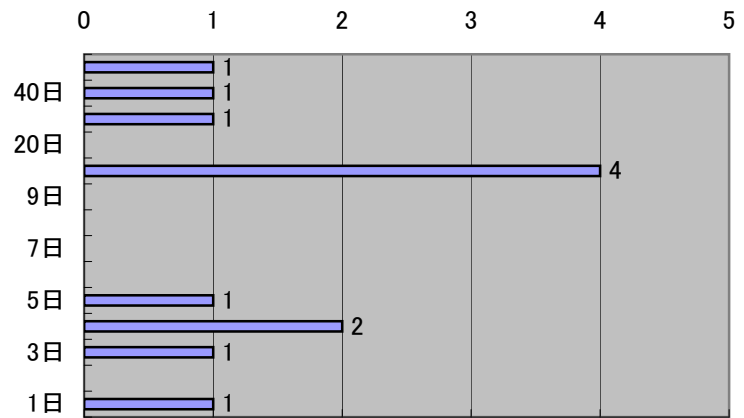
問8-② 冠婚葬祭、親の病気日数

	人数	割合(%)
1日	4	33.3%
2日	4	33.3%
3日	1	8.3%
4日		
5日	2	16.7%
6日		
7日		
8日		
9日		
10日	1	8.3%
合計	12	100.0%



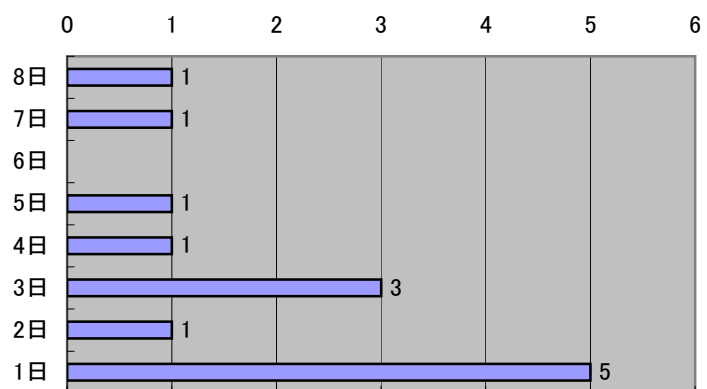
問8-③ 就労による日数

	人数	割合(%)
1日	1	8.3%
2日		
3日	1	8.3%
4日	2	16.7%
5日	1	8.3%
6日		
7日		
9日		
10日	4	33.3%
20日		
30日	1	8.3%
40日	1	8.3%
51日~90日	1	8.3%
合計	12	100.0%



問9 今は利用していない、できれば利用したい、回数を増やしたい希望日数(ひと月)

	人数	割合(%)
1日	5	38.5%
2日	1	7.7%
3日	3	23.1%
4日	1	7.7%
5日	1	7.7%
6日		
7日	1	7.7%
8日	1	7.7%
合計	13	100.0%



ベビーシッターの利用について

ベビーシッターの利用については、わずかに3人となっています。
今後の利用希望についても少ない状況となっています。

問10 ベビーシッター利用の目的別(複数回答)

	人数	割合(%)
子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している		
祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	1	33.3%
親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	1	33.3%
その他の目的で利用している	1	33.3%
合計	3	100.0%

問11-1 利用頻度

記入なし

問12 今は利用していないが、今後利用希望がある。希望日数

	人数	割合(%)
月に1日	2	66.7%
月に2日	1	33.3%
合計	3	100.0%

就学児童調査自由意見

【経済全般】

- 理想は子育ての支援としての援助や修学旅行などの助成があると助かると思います。子供は来年高学年になるので預りは利用しないです。
- 所得の多少に限らず、児童手当が支給される制度になってもらいたい。これでは子供を育てている意味がないと思います。
- 児童手当を小6までじゃなく、せめて中3までにしてほしい。毎月一万ぐらいにしてほしいです。
- 子供を育てるのにお金がかかるので児童手当をもう少し大きくなるまでもらえるようになると助かると思う。
- 医療費の免除をしてくれる年齢でできるだけ増やして欲しい。

【保育・預り・児童館】

- 働きたい母親もいると思います。0～3歳児の幼稚園等で預けられるといいのになあと思います。特に通勤族の家族などは親戚も近くにいません。職場復帰したくても預ける所がなくて羅臼を去る家族もいます。
- 時間的に長く、夜遅くになっても見てもらえる事を理想としています。羅臼はどこへ行くにも遠いので夜を迎えてしまうことが多々あり、その親戚の病気や用事にも仕方なく幼稚園を休ませざるしかないので、安心して時間を気にせず預けて行動したいと思うので。無理でしょうか。
- 現在の世の中は生活状況が厳しく、母親も常に働き家庭を支えていかなければならないので、安心して子供を預ける所があると働きやすいと思う。
- 児童会館があれば、とても気分的に仕事がしやすい。
- 学校の統合が行われていますが、交通手段も限られており、放課後を安心して過ごせる児童館を望みます。
- 仕事がしたくても児童館などがいないため仕事もできない。子供がいても仕事出来る様になるのが一番理想。
- 幼稚園前、保育のできる場があればわが子連れで働いてみたかった。(働きたいと思っています)
- 子供が遊べる児童館等があればとても助かります。
- 以前、子供が小さい頃、両親も仕事でどうしても預かってもらえず、仕方なく子供2人つれて免許の講習にいきました。30分だったので、どうにかなると思いましたが、その時の名は知りませんが、講習担当と思われるお年寄りにイヤミを言われ、講習の途中で出て行けとまで言われ、くやしい思いをしました。今ほど色々預かってもらえるシステムがなかった時代なので、1時間でも2時間でも子供を預かってもらえるのは大変ありがたいと思うので、どんどんそういう環境ができるといいなと思います。

【医療体制】

- 羅臼の医療機関は充分ではないので、夜間など子供のケガやひきつけや、とっても心配。
- 夜、夜中に子供のケガ・発熱などの時に町内でかけられる病院の設備をきちんとしてほしい。
- 病院の事で入院やケガなどを即時に対応できるように願いたい。
- 病気やケガをしてもすぐ見てもらえる病院があり、安心して生活ができる環境であってほしい。
助成金など今まであった物がなくなるとすごく困る。今までやっていけた事が生活の負担になる事がある。

【公園・遊び場】

○もう少し外での自然に触れ合うように大人たちがなんとかしたい。昔の遊びなど教えたり、ふれあう機会があれば。遊びについてはまずいいと思う。機械と遊んでいる子供が多い。かなしい。

【その他全般】

○児童手当や乳幼児カードなど収入に関係なく、全ての子供に与えてほしい。

○プールを綺麗にしてほしい。

○単に母親が楽ができる子育て支援やサービスではないと思う。
安易に楽するだけのサービスを提供するのであれば、意味のない子育て支援だち思います。

○基本的に自分の子は自分で育てるべきです。ストレスのためのリフレッシュは必要で、人それぞれですが子が大きくなればそれなりに時間は出来ます。

○子供を生むまで12年間仕事をしていた中で、いろいろ学ぶこともあったが、子供を生み育てることでまた違った環境になり、世界が広がって一人で仕事をしていた頃とは違った意味で自分が成長できる気がする。周りではまだ子供が小さいうちから預けて働いている人もいるが、自分としては子供の成長や変化を見ないなんてもったいないと思う。子供が親離れしてから、また自分の時間を楽しめばいいと思っている。また、それが許される環境にいられることを幸せに感じる。

○羅臼町はハッキリ言って、子供を安心して育てる事ができません。病院の事もそうだし楽しく遊べる公園もない。

○今は子供も大きくなり、留守番もできる年齢になったので、預り施設等のことは気にならなくなりましたが4年生くらいまでは本当にそういう場所があれば良いのと思っていました。また身近に親類がいなければそう思っている方も沢山いらっしゃると思います。近年共働きをしなければ生活が成り立たない世の中なのでもっと国では安心して子供達を守れる(預かれる)環境等を整えて頂けたらと思います。

○自分が生み育てていく楽しみは親にしか経験のできない事。赤ちゃんから子供になっていく短い間、たった少しなのだから、誰かに預けたりせず一日、一日を大切に過ごしてほしいです。母親が仕事をしている昼間の事は誰かに預けていたのなら、その楽しみは経験できずにいるのですから。その短い間に人は育っていくのです。母がしっかりしなければと思います。人まかせにはできません。お金にはかえられませんね。

○このアンケート書くとき、読むのがつらかった。もう少し簡単なのがいいと思いました。仕事をしているのでちょっと、つらかったです。

○集計は公表すること。

○土曜日に休みが取れる社会制度にしてくれると良い。もしくは学校が土曜日に半日あると良い。子供が休みの時、親が仕事だと子供の行事に参加する事が難しく、子供は親が参加出来ない事は理解しているが、やっぱりさびしい気持ちでいる事は確かなことです。

付 属 資 料

羅臼町次世代育成支援に関するアンケート調査 (就学前児童用)

調査ご協力をお願い

日頃から羅臼町の子育て支援行政の推進について、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、羅臼町では子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を目指して平成17年度に策定した「羅臼町次世代育成支援対策行動計画（前期計画）」に基づき子育て支援行政を推進していますが、核家族化や子育ての意識の変化等を背景に子育て支援に関するニーズは多様化しています。そこで、平成21年度に策定する「行動計画（後期計画）」に皆様方の子育てに対するご意見等を反映するためアンケート調査を実施することにいたしました。

この調査票は平成21年4月現在、小学校へ上がる前のお子さんのいらっしゃる世帯へ送付したもので、調査の結果については統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは決してありません。

大変恐縮ですがこの調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年8月

羅臼町長 脇 紀美夫

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけていただく場合と数字などを記入していただく場合があります。
3. 質問によって、○をつける数を「2つまで」と指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、〔 〕内には具体的な内容を記入してください。
4. 数字で時間をご記入いただく場合には、24時間制（例 午後6時→18時）で記入してください。
5. 前の設問へのご回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

※このアンケート調査は、「就学前児童」「就学児童」と分けて調査をお願いしています。各家庭に3人以上のご兄弟姉妹がおりましても、調査票はそれぞれ2部しか入っておりません。（1人のお子様の家庭には1部です）又、アンケート対象者は封筒の宛名のお子様となっておりますのでお間違いのないようお願いいたします。

ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて

9月4日（金）までにご投函ください。

ご不明な点、調査に関するお問合せは下記までお願いします。

連絡先 羅臼町保健福祉課福祉係 電話 87-2161

※これからお答えいただくことについては、統計的に分析することを目的としており個人を特定するものではありません。

封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月、兄弟姉妹についてご記入ください。

平成 年 月生まれ 人兄弟姉妹の 番目

問2 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|----------------|----------------|---------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居(ひとり親家庭) | 3. 母同居(ひとり親家庭) | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 | 7. 祖母近居 | 8. その他 |

問3 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問3-1は、問3で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問3-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 |

問3-2は、問3で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問3-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 |

問4 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他 |
|---------|---------|----------|--------|

お子さんのお父さん・お母さんの就労状況についてお伺いします。

問5 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、□ 数字の記入をお願いします。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記載不要】

- | |
|--|
| 1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時 〕 |
| 2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中） |
| 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③ 希望はない |
| 4. 以前は就労していたが、現在は就労していない |
| 5. これまでに就労したことがない |

保育サービスの利用についてお伺いします。

問8はすべての方にお伺いします。

問8 封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービス（P2の定義参照）の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用しているかどうか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 利用している | (→ 問8-1へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問8-4へ) |

問8-1～8-3は、問8で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

問8-1 封筒の宛名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。

【日中の定期的保育】

1. 家庭的な保育（保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
2. 事業所内保育施設（企業が従業員用に運営する施設）
3. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）
4. ベビーシッター
5. その他の保育施設

問8-2及び問8-3は、問8-1で「1.」～「5.」の選択肢を選んだ方にお伺いします。

問8-2 現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。

1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用しているかどうか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

1週あたり 日 1日あたり 時間 （ 時～ 時）

問8-3 利用されている理由についてお伺いします。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため
7. その他（ ）

問8-4は、問8で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問8-4 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. （子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため。（歳くらいになったら預けようと考えている）
9. その他（ ）

サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問9 封筒の宛名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、（利用日数・回数や利用時間が）足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号を選んで○をつけてください。

【日中の定期的保育】

1. 家庭的な保育（保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
2. 事業所内保育施設（企業が従業員用に運営する施設）
3. 幼稚園（通常の就園時間）
4. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）
5. ベビーシッター
6. その他の保育施設

封筒の宛名のお子さんの土・休日の保育について、すべての方に希望をお伺いします。

問10 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。
 ※保育サービスなどは、保育所、幼稚園、認可外保施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間帯をお答えください。 時から 時まで
---	---	------------------------------

【日曜日・祝日】

1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間帯をお答えください。 時から 時まで
---	---	------------------------------

宛名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問11 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス（問7-2の定義参照）が利用できなかったことはありますか。

1. あった	(→ 問11-1,2へ)
2. なかった	(→ 問12へ)

この1年間の、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問11-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（半日についても1日とカウントしてください）

問11-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

↓ 1. 父親が休んだ <input type="text"/> <input type="text"/> 日 2. 母親が休んだ <input type="text"/> <input type="text"/> 日 3. 親族・知人に預けた <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒	↓ できれば施設等に預けたい <input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 就労していない保護者がみた <input type="text"/> <input type="text"/> 日 5. ベビーシッターを頼んだ <input type="text"/> <input type="text"/> 日		6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた <input type="text"/> <input type="text"/> 日 7. その他 () <input type="text"/> <input type="text"/> 日

すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問12 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある → 年間 <input type="text"/> <input type="text"/> 日 (理由別)
① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 <input type="text"/> <input type="text"/> 日 ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気 <input type="text"/> <input type="text"/> 日 ③ 就労 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. ない

問13 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に <input type="text"/> 日くらい

すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします。

ベビーシッターを利用している方にお伺いします。

問14 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他の目的で利用している

問14-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

すべての方にお伺いします。

問15 封筒の宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいのひろば、子育て支援センター等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） 1週あたり [] 回
2. その他当該自治体で実施している同様の事業（具体名） 1週あたり [] 回
3. 利用していない

問16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） 1週あたり [] 回
2. その他当該自治体で実施している同様の事業（具体名） 1週あたり [] 回
3. 特になし

問15で「3. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問16-1 現在利用していない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 利用したいサービスが地域にない
2. 地域のサービスの質に不安がある
3. 地域のサービスの利便性が悪く利用しづらい
4. 利用料がかかる
5. 自分がサービスの対象者になるのかどうかわからない
6. 時間がない
7. サービスの利用方法（手続き等）がわからない
8. その他
9. 特に理由はない

子育て支援サービスの認知度・利用度についてお伺いします。

問17 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①母親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健師による相談サービス	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

育児休業制度の利用についてお伺いします。

問18 封筒の宛名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 母親が利用した | (→ 問19-1へ) |
| 2. 父親が利用した | |
| 3. 母親と父親の両方が利用した | |
| 4. 利用しなかった | |

問18-1及び問18-2は、母親又は父親が育児休業を取得されていた方についてお伺いします。

問18-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入下さい。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問22で「3.」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

子どもは ヶ月だった

問19-2 「4.利用した」を選ばれた方にお伺いします。どのように対応されましたか。

- | |
|---------------------|
| 1. 希望とは違う認可保育所を利用した |
| 2. 事業所内の保育サービスを利用した |
| 3. 上記以外の保育サービスを利用した |
| 4. 家族等にみてもらうことで対応した |
| 5. 仕事を辞めた |

☆安心して子どもを生み、育てていくための取り組み、社会の制度のあり方、あなたにとっての理想の子育てなど、
ご意見がありましたら、自由に記入してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて9月4日までにご投かん下さい。

羅臼町次世代育成支援に関するアンケート調査 (就学児童用)

調査ご協力のお願い

日頃から羅臼町の子育て支援行政の推進について、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、羅臼町では子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を目指して平成17年度に策定した「羅臼町次世代育成支援対策行動計画（前期計画）」に基づき子育て支援行政を推進していますが、核家族化や子育ての意識の変化等を背景に子育て支援に関するニーズは多様化しています。そこで、平成21年度に策定する「行動計画（後期計画）」に皆様方の子育てに対するご意見等を反映するためアンケート調査を実施することにいたしました。

この調査票は平成21年4月現在、町内の小学生（1年生から6年生）のお子さんのいらっしゃる世帯へ送付したもので、調査の結果については統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは決してありません。

大変恐縮ですがこの調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年8月

羅臼町長 脇 紀美夫

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけていただく場合と数字などを記入していただく場合があります。
3. 質問によって、○をつける数を「2つまで」と指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、〔 〕内には具体的な内容を記入してください。
4. 数字で時間をご記入いただく場合には、24時間制（例 午後6時→18時）で記入してください。
5. 前の設問へのご回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

※このアンケート調査は、「就学前児童」「就学児童」と分けて調査をお願いしています。各家庭に3人以上のご兄弟姉妹がおりましても、調査票はそれぞれ2部しか入っておりません。（1人のお子様の家庭には1部です）又、アンケート対象者は封筒の宛名のお子様となっておりますのでお間違いのないようお願いいたします。

ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて

9月4日（金）までにご投函ください。

ご不明な点、調査に関するお問合せは下記までお願いします。

連絡先 羅臼町保健福祉課福祉係 電話 87-2161

※これからお答えいただくことについては、統計的に分析することを目的としており個人を特定するものではありません。

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月、兄弟姉妹についてご記入ください。

平成 年 月生まれ 人兄弟姉妹の 番目

問2 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|----------------|----------------|---------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居(ひとり親家庭) | 3. 母同居(ひとり親家庭) | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 | 7. 祖母近居 | 8. その他 |

問3 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問3-1は、問3で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問3-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 |

問3-2は、問3で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問3-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 |

問4 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他 |
|---------|---------|----------|--------|

お子さんのお父さん、お母さんの就労状況についてお伺いします。

問5 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時 〕
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

(2) 母親

1. 就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時 〕
2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問6は、問5の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5.これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問8へお進みください。

問6 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある） (→ 問6-1へ)
2. 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい） (→ 問6-1へ)
3. 無 (→ 問7へ)

問6-1及び問6-2は、問6で「1.有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」、「2.有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問6-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労（週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間）



問6-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 放課後児童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5. その他()

宛名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします。

問7 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

- | | |
|---------|-------------|
| 1. あった | (→ 問7-1,2へ) |
| 2. なかった | (→ 問8へ) |

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問7-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。(半日程度についても1日とカウントしてください)

問7-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

↓														
1. 父親が休んだ		日												
2. 母親が休んだ		日												
3. (同居者を含む) 親族・知人		日												
} →														
できれば施設等に預けたい														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">4. 就労していない保護者がみた</td> <td style="width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></td> <td style="width: 20px; text-align: center;">日</td> </tr> <tr> <td>5. ベビーシッターを頼んだ</td> <td style="width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> <tr> <td>6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた</td> <td style="width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> <tr> <td>7. その他()</td> <td style="width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>			4. 就労していない保護者がみた		日	5. ベビーシッターを頼んだ		日	6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		日	7. その他()		日
4. 就労していない保護者がみた		日												
5. ベビーシッターを頼んだ		日												
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		日												
7. その他()		日												

すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問8 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. ある	→ 年間		日
(理由別)			
① 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的			
② 冠婚葬祭、子どもの親の病気			
③ 就労			
2. ない			

羅臼町次世代育成支援行動計画策定に係るニーズ調査結果について

町では、「羅臼町次世代育成支援行動計画」（後期計画）を策定するにあたり、町民のみなさまの子育てに関する意向や要望などを把握させていただくためのニーズ調査を実施しました。

- 調査期間 平成21年8月24日（月）～9月4日（金）
- 調査の対象 小学校入学前までのお子さんのいる世帯 250人
小学校1年生から6年生までのお子さんのいる世帯 259人
- 閲覧場所 各幼稚園、各小学校、ありんこ、羅臼町公民館（図書室）、
保健福祉課窓口
羅臼町HP <http://www.rausu-town.jp/>
- ・問合先 羅臼町保健福祉課 電話 87-2161